

環境省水・大気環境局大気環境課
(環境省請負業務)

平成27年度
アスベスト大気濃度調査計画策定等業務
報告書

平成28年3月

ECC 株式会社 環境管理センター

目 次

業務成果の概要

| | |
|--|---|
| 1. 業務の目的 | 1 |
| 2. 業務の実施期間 | 1 |
| 3. 環境省アスベスト大気濃度調査検討会の設置及び運営 | 1 |
| 4. 業務の概要 | |
| 4. 1 アスベスト大気濃度調査計画の策定 | 2 |
| 4. 2 アスベスト大気濃度調査結果の取りまとめ | 3 |
| 4. 3 地方自治体において実施したアスベスト大気濃度調査結果のとりまとめ | 6 |
| 4. 4 解体現場等及び破碎施設の測定状況 | 6 |
| 4. 5 解体現場等における現場管理のための測定 | 6 |
| 4. 6 位相差/偏光顕微鏡法及び位相差/蛍光顕微鏡法によるアスベスト分析の検討 | 7 |

Summary

| | |
|---|----|
| 1. Objective of the Project | 8 |
| 2. Period of Project Implementation | 8 |
| 3. Forming and Running the Airborne Asbestos Concentration Study Group under the Ministry of the Environment | 8 |
| 4. Outline of the Project Implementation | 9 |
| 4. 1 Formulation of airborne asbestos concentration study plan | 9 |
| 4. 2 Compilation of the airborne asbestos concentration study findings | 10 |
| 4. 3 Summary of the Results of the Airborne Asbestos Concentration Study Implemented by Local Governments | 14 |
| 4. 4 Measurements at Demolition Sites and the Like and Crushing Facilities | 14 |
| 4. 5 Measurement for field management at Demolition Sites and the Like | 14 |
| 4. 6 Study of asbestos analysis by the phase- contrast/polarized-light microscopy and phase- contrast / fluorescence microscopy | 15 |

本文

第Ⅰ章 アスベスト大気濃度調査計画の策定等

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 測定対象地点案の作成と測定項目 | 17 |
| 2. 測定日の調整及びスケジュール管理 | 19 |
| 3. 測定精度管理方法案の作成及び環境省指定講習会の実施内容等 | 21 |

第Ⅱ章 アスベスト大気濃度調査結果の取りまとめ

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 全測定地点の調査結果 | 24 |
| 2. 総合的な検証・評価等 | 35 |
| 2. 1 風向・風速の影響について | 35 |
| 2. 2 地域分類別の測定結果 | 38 |
| 2. 3 総繊維数濃度が高かった地点に関する電子顕微鏡法による分析結果 | 39 |
| 2. 4 過去の調査結果との比較 | 69 |

第Ⅲ章 解体現場等及び破碎施設の測定状況

| | |
|---------------|----|
| 1. 解体現場等の測定状況 | 75 |
| 2. 破碎施設の測定状況 | 80 |

第Ⅳ章 位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法によるアスベスト分析の検討

| | |
|-------------------------|-----|
| 1. 目的 | 89 |
| 2. 対象とする迅速測定法 | 89 |
| 3. 試験項目 | 89 |
| 4. 計数者の要件 | 89 |
| 5. 試験方法 | 90 |
| 6. 試験用スライドについて | 90 |
| 7. 試験用スライドの試験スケジュール | 92 |
| 8. 各分析機関における試験の実施方法について | 93 |
| 9. 測定結果 | 94 |
| 10. 考察 | 99 |
| 11. まとめ | 102 |

「座長まとめ」 105

添付資料1 風の解析結果 資1

業務成果の概要

1. 業務の目的

中央環境審議会の中間答申において大気濃度測定の義務付け等について検討する必要があるとされており、また、「アスベスト問題に係る総合対策」（平成 17 年 12 月 27 日付け、アスベスト問題に関する関係閣僚による会合決定）において石綿による大気汚染の状況を把握するため、全国で大気中の石綿濃度測定を実施することとされている。

これを踏まえ本業務では、大気中の石綿濃度測定を効率的に実施させること等を目的とした。

2. 業務の実施期間

平成27年9月10日～平成28年3月31日

3. 環境省アスベスト大気濃度調査検討会の設置及び運営

本調査を行うに当たっては、学識経験者等（下表）からなる環境省アスベスト大気濃度調査検討会（以下「検討会」という。）を開催し、アスベスト大気濃度調査についての調整を図るとともに、測定手法等調査内容全般にわたって検討をいただいた。

検討会の構成委員

（敬称略、五十音順）

| 氏名 | 所属 |
|--------|--------------------------|
| 神山 宣彦* | 東洋大学大学院経済学研究科 客員教授 |
| 貴田 晶子 | 愛媛大学農学部 客員教授 |
| 小坂 浩 | 元兵庫県立健康環境科学研究所 大気環境部 研究員 |
| 小西 淑人 | 一般社団法人日本纖維状物質研究協会 専務理事 |
| 平野 耕一郎 | 公益社団法人日本環境技術協会 理事 |
| 山崎 淳司 | 早稲田大学理工学術院 教授 |

* 座長

（1）第1回アスベスト大気濃度調査検討会

日時：平成 27 年 10 月 19 日（月） 10：00～11：12

議事：

- ・平成 26 年度アスベスト大気濃度調査計画について
- ・位相差／偏光顕微鏡法、位相差／蛍光顕微鏡法及び分析走査電子顕微鏡法による分析について

(2) 第2回アスベスト大気濃度調査検討会

日時：平成27年12月8日（火） 14:00～15:12

議事：

- ・平成27年度アスベスト大気濃度調査の進捗状況及び調査結果について
- ・位相差／偏光顕微鏡法、位相差／蛍光顕微鏡法及び分析走査電子顕微鏡法の比較試験に使用する検体の選定について

(3) 第3回アスベスト大気濃度調査検討会

日時：平成28年3月17日（木） 14:00～15:57

議事：

- ・平成27年度アスベスト大気濃度調査の結果について
- ・位相差／偏光顕微鏡法、位相差／蛍光顕微鏡法及び分析走査電子顕微鏡法の比較について

4. 業務の概要

4. 1 アスベスト大気濃度調査計画の策定

(1) 測定対象地点案の作成

平成26年度調査の調査結果等をもとに、平成27年度の測定地点案を選定した。但し、東日本大震災の影響により、福島県に関しては「東日本大震災の被災地におけるアスベスト対策支援等業務」で調査対象としているため、本調査では対象外とした。

測定対象とした地点数は、総計で44地点、107箇所、492試料であった。なお、このうち、33地点、65箇所、390試料は平成7年度、平成17年度～平成26年度に実施した地点と同一である。

アスベスト大気濃度調査は、「アスベストモニタリングマニュアル第4.0版」（平成22年6月環境省 水・大気環境局大気環境課）により測定を行った。

モニタリング調査を行った地点において総纖維数濃度が1.0本/Lを超えた地点(4地点、10箇所、17試料)については、「アスベストモニタリングマニュアル第4.0版」に従って、分析走査電子顕微鏡法による測定を行った。

(2) 測定実施日の調整

測定の実施について調整した結果、全調査を平成27年10月19日～平成28年2月4日に実施した。

(3) 測定精度管理方法案の作成及び環境省指定講習会の開催

学識経験者を委員とした検討会において検討した上で、精度管理計画書案を作成し、纖維濃度の測定を実施する測定業者に対して、検討会委員を講師とした環境省指定講習会を受講させた。

4. 2 アスベスト大気濃度調査結果の取りまとめ

(1) アスベスト大気濃度調査（光学顕微鏡法）による計数結果

アスベスト大気濃度調査結果の採用に当たって、発生源周辺地域（旧石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等、解体現場等、蛇紋岩地域、高速道路及び幹線道路沿線）については、サンプリング時における採取時の風向・風速等の状況を確認し、計数結果の妥当性を判定した上で採用値とした。地域分類別の測定結果の集約表を表-1に示す。なお、集じん機排気口等における調査結果については参考として示した。

アスベスト大気濃度調査（光学顕微鏡法）による計数結果を集約したところ、総纖維数濃度は総合計172データのうち、155データが1.0本/L以下であった。

表-1 光学顕微鏡法による地域分類別の計数結果集約表

| 地域分類 | 地点数 | 測定箇所数 | 測定データ数 | NDの数 | 総纖維数濃度 | | |
|------------|--------------|-------|--------|------|--------------|--------------|----------------|
| | | | | | 最小値 (本/L) | 最大値 (本/L) | 幾何平均値 (本/L) |
| 発生源周辺地域 | 旧石綿製品製造事業場等 | 1 | 6 | 12 | 2 | 0.056 | 5.5 |
| | 廃棄物処分場等 | 7 | 14 | 18 | 1 | 0.070 | 0.68 |
| | 解体現場(建物周辺) | 2 | 8 | 8 | 0 | 0.056 | 1.5 |
| | 蛇紋岩地域 | 2 | 4 | 8 | 0 | 0.088 | 0.30 |
| | 高速道路及び幹線道路沿線 | 6 | 12 | 24 | 1 | 0.056 | 0.37 |
| バックグラウンド地域 | 住宅地域 | 7 | 13 | 26 | 3 | 0.056 | 0.37 |
| | 商工業地域 | 5 | 10 | 20 | 3 | 0.056 | 0.38 |
| | 農業地域 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0.10 | 0.23 |
| | 内陸山間地域 | 3 | 6 | 12 | 1 | 0.081 | 0.36 |
| | 離島地域 | 4 | 8 | 16 | 1 | 0.056 | 0.28 |
| その他の地域 | 破碎施設 | 4 | 20 | 20 | 4 | 0.056 | 2.1 |
| 合計 | | 42 | 103 | 168 | 16 | - | - |

| (参考)集じん機排気口等における調査結果 | 地点数 | 測定箇所数 | 測定データ数 | NDの数 | 総纖維数濃度 | | |
|----------------------|-----|-------|--------|------|--------------|--------------|----------------|
| | | | | | 最小値 (本/L) | 最大値 (本/L) | 幾何平均値 (本/L) |
| 解体現場(セキュリティゾーン出入口) | (2) | 2 | 2 | 0 | 0.45 | 18 | 2.8 |
| 解体現場(集じん機排気口) | (2) | 2 | 2 | 0 | 0.17 | 0.79 | 0.37 |
| 合計 | (2) | 4 | 4 | 0 | - | - | - |

注1) 「解体現場」とは、建築物等の解体、改造または補修作業現場を意味している。また、「建物周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界。「セキュリティゾーン出入口」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の出入口、「集じん機排気口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。

注2) 各測定箇所の総纖維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、注3)の場合を除き、各地点で3日間（4時間×3回）測定して得られた個々の測定値を地点ごとに幾何平均し、その値を当該地点の総纖維数濃度としている。

注3) 解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各地点で1日間（No. 39～40：2時間×1回）測定し、その測定値を当該地点における総纖維数濃度としている。

注4) 表中の（）内の数値は解体現場における内数である。

注5) 平成21年度アスベスト大気濃度調査に関する検討結果に基づき、これまで地域としていたものを「地点」とし、地点としていたものを「箇所」とした。

(2) 過去の調査結果との比較

本年度の調査のうち27地点57箇所については、過去の調査結果との比較を目的に、過去（平成7年度、平成17～26年度調査）と同一地点において調査を実施した。当該地点について調査地域分類別に集計・整理した平成27年度の結果は、表-2に示すとおりである。また、過去の調査結果との比較を表-3に、そのグラフを図-1に示す。全ての地点で1.0本/Lを下回っていることから、総繊維数濃度は低いレベルで推移していると考えられる。

表-2 過去と同一調査地域における平成27年度調査結果

| 地域分類 | 地点数 | 測定箇所数 | 測定データ数 | 総繊維数濃度 | | |
|--------------|-----|-------|--------|--------------|--------------|----------------|
| | | | | 最小値 (本/L) | 最大値 (本/L) | 幾何平均値 (本/L) |
| 旧石綿製品製造事業場等 | 1 | 6 | 12 | 0.056 | 5.5 | 0.33 |
| 廃棄物処分場等 | 2 | 4 | 8 | 0.070 | 0.43 | 0.19 |
| 蛇紋岩地域 | 2 | 4 | 8 | 0.088 | 0.30 | 0.15 |
| 高速道路及び幹線道路沿線 | 6 | 12 | 24 | 0.056 | 0.37 | 0.14 |
| 住宅地域 | 7 | 13 | 26 | 0.056 | 0.37 | 0.14 |
| 商工業地域 | 5 | 10 | 20 | 0.056 | 0.38 | 0.14 |
| 農業地域 | 1 | 2 | 4 | 0.10 | 0.23 | 0.14 |
| 内陸山間地域 | 2 | 4 | 8 | 0.10 | 0.36 | 0.21 |
| 離島地域 | 1 | 2 | 4 | 0.056 | 0.28 | 0.12 |
| 合計 | 27 | 57 | 114 | - | - | - |

注1) 各測定箇所の総繊維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で3日間（4時間×3回）測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を総繊維数濃度としている。

注2) 調査地域の分類に当たっては、過去の調査結果においては異なる分類を行っていた地域もあるが、平成27年度の調査地域に合わせて分類した。

表-3 過去と同一調査地域内における平成27年度調査結果の比較

| 地域分類 | 総繊維数濃度 | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 幾何平均値(本/L) | | | | | | | | | | |
| | 平成 17年度 | 平成 18年度 | 平成 19年度 | 平成 20年度 | 平成 21年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 | 平成 27年度 |
| 旧石綿製品製造事業場等 | 0.98 | 0.56 | 0.35 | 0.09 | 0.25 | 0.07 | 0.10 | 0.21 | 0.19 | 0.15 | 0.33 |
| 廃棄物処分場等 | 1.86 | 0.86 | 0.35 | 0.23 | 0.31 | 0.14 | 0.15 | 0.29 | 0.26 | 0.22 | 0.19 |
| 蛇紋岩地域 | 0.86 | 0.66 | 0.46 | 0.21 | 0.30 | 0.11 | 0.10 | 0.18 | 0.24 | 0.21 | 0.15 |
| 高速道路及び幹線道路沿線 | 1.13 | 1.08 | 0.59 | 0.30 | 0.88 | 0.14 | 0.21 | 0.36 | 0.29 | 0.18 | 0.14 |
| 住宅地域 | 0.81 | 0.45 | 0.37 | 0.21 | 0.43 | 0.08 | 0.10 | 0.18 | 0.22 | 0.19 | 0.14 |
| 商工業地域 | 0.66 | 0.55 | 0.33 | 0.18 | 0.33 | 0.13 | 0.12 | 0.33 | 0.25 | 0.18 | 0.14 |
| 農業地域 | 0.49 | 1.00 | 0.45 | 0.17 | 0.75 | 0.11 | 0.18 | 0.34 | 0.27 | 0.15 | 0.14 |
| 内陸山間地域 | 0.72 | 0.68 | 0.45 | 0.20 | 0.51 | 0.10 | 0.09 | 0.23 | 0.25 | 0.14 | 0.21 |
| 離島地域 | 0.24 | 0.90 | 0.48 | 0.11 | 0.35 | 0.14 | 0.06 | 0.33 | 0.31 | 0.34 | 0.12 |

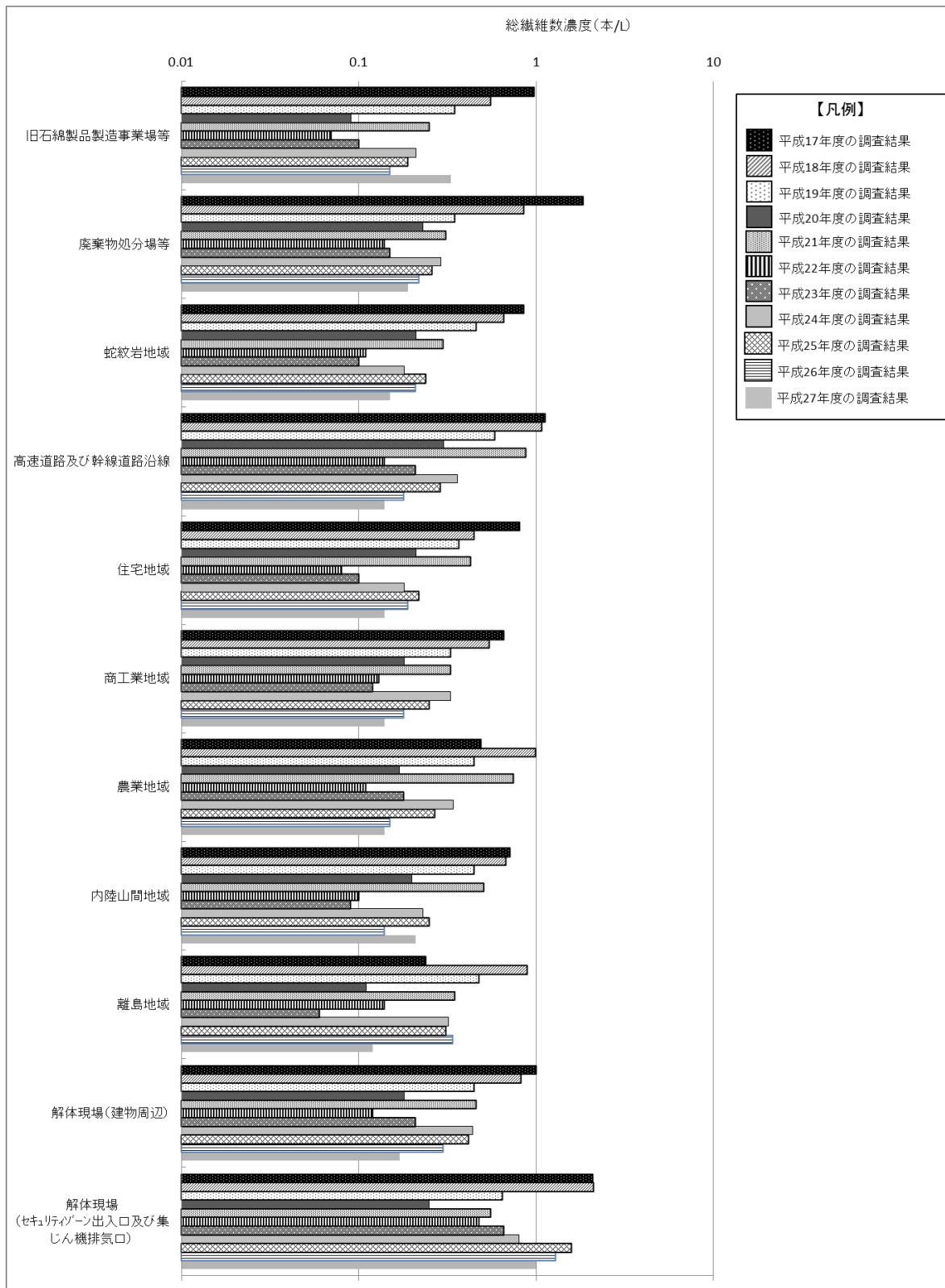


図-1 過去と同一調査地域における平成27年度調査結果の比較

4. 3 地方公共団体において実施したアスベスト大気濃度調査結果のとりまとめ

平成27年に地方公共団体が実施した大気中のアスベスト濃度調査結果を取りまとめ、環境省へ提出した。

4. 4 解体現場等及び破碎施設の測定状況

本調査では解体現場等について2現場、破碎施設について4施設の測定を行った。

各解体現場の測定については建物周辺、セキュリティゾーン出入口、集じん機排気口で測定を行った。また、各破碎施設の測定については破碎施設敷地境界、破碎機付近で測定を行った。

解体現場及び破碎施設において、光学顕微鏡法による総纖維数濃度が1.0本/Lを超えた箇所があり、分析走査電子顕微鏡法による分析を行った結果、1箇所で石綿纖維が検出された。

4. 5 解体現場等における現場管理のための測定

本調査では、解体現場等からアスベストを飛散させていないかを確認する方法として、纖維状粒子自動測定器による測定を同時に行つた。解体現場等2現場を対象とし、調査箇所はセキュリティゾーン出入口及び集じん機排気口の2箇所とした。

纖維状粒子自動測定器のメーカー1社で行った担当調査箇所を表-4に示す。データの検証、さらなる知見の充実及び技術の進歩に向け、引き続き検討することとする。

表-4 繊維状粒子自動測定器担当調査箇所

| 地点 No. | 場所 | 測定日 | アエモテック 株式会社 |
|-----------|-----|-------------|----------------|
| 39 | 鳥取県 | 平成27年12月14日 | ○ |
| 40 | 東京都 | 平成27年12月25日 | ○ |

4. 6 位相差/偏光顕微鏡法及び位相差/蛍光顕微鏡法によるアスベスト分析の検討

解体現場におけるアスベスト濃度の迅速な測定方法である位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法の分析精度等に関するデータを収集した。

今回の調査結果では、それぞれの顕微鏡において測定したアスベスト纖維を「アスベスト割合 (%)」で見るのでなく、「アスベストモニタリングマニュアル」の通り「アスベスト纖維数濃度 (f/L)」で比較した結果、位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法と電子顕微鏡法との間には相関性があるものと考えられ、位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法とともに電子顕微鏡法と同様に PCM 法の測定結果を補填するに十分な方法であると考えられる。

但し、今後も継続的に測定データを収集し、より多くのデータを電子顕微鏡法と比較することにより、アスベスト纖維数濃度の測定方法の一つとして確立していくことが望ましい。

Summary

1. Objective of the Project

According to an intermediate report issued by the Central Environment Council, it is necessary to consider making it obligatory to measure the concentration of asbestos in the air and other matters. In addition, in the document titled “Comprehensive Measures Related to the Asbestos Problem” (determined at the related ministers meeting on the asbestos problem on December 27, 2005) it is determined to measure the concentration of asbestos in the air across Japan to understand the situation of air pollution caused by asbestos.

Given this decisions, this project aims to promote efficient measurement of asbestos concentration in the air.

2. Period of Project Implementation

September 10, 2015 through March 31, 2016

3. Forming and Running the Airborne Asbestos Concentration Study Group under the Ministry of the Environment

For the implementation of this project, a Study group called the Airborne Asbestos Concentration Study Group under the Ministry of the Environment (hereinafter referred as “Study group”) consisting of the below-listed experts was formed, which provided coordinated guidance on the Airborne Asbestos Concentration Study as well as an overall review of the project implementation, including the measurement method and the like.

Study group members

(Honorifics omitted)

(In Japanese alphabetical order)

| Name | Affiliation |
|-------------------|---|
| Norihiko Koyama* | Visiting Professor, Graduate School of Economics, Toyo University |
| Akiko Kida | Visiting Professor, Faculty of Agriculture, Ehime University |
| Hiroshi Kosaka | Former research fellow, Atmospheric Environment Division, Hyogo Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences |
| Yoshihito Konishi | Managing Director of Japan Association for the Study of Fiber Materials |
| Koichiro Hirano | Director, Japan Environmental Technology Association |
| Atsushi Yamazaki | Professor, Faculty of Science and Engineering, Waseda University |

* Chair

(1) Airborne Asbestos Concentration Study Group Meeting No.1

Date: Monday, October 19, 2015 from 10:00 to 11:12

Agenda: Fiscal 2015 airborne asbestos concentration study plan

Accumulation of analysis data by the phase-contrast/polarized-light microscopy and phase-contrast /fluorescence microscopy and analysis of scanning electron microscopy

(2) Airborne Asbestos Concentration Study Group Meeting No.2

Date: Tuesday, December 8, 2015 from 14:00 to 15:12

Agenda: Progress and survey results of fiscal 2015 airborne asbestos concentration study

Selection of the specimen to be used in the comparison test of the phase-contrast/polarized-light microscopy and phase-contrast /fluorescence microscopy and analysis of scanning electron microscopy

(3) Airborne Asbestos Concentration Study Group Meeting No.3

Date: Thursday, March 17 2016 from 14:00 to 15:57

Agenda: Survey results of fiscal 2014 airborne asbestos concentration study Information

For a comparison of analysis of scanning electron microscopy and phase-contrast /polarizing microscope and phase-contrast / fluorescence microscope

4. Outline of the Project Implementation

4.1 Formulation of airborne asbestos concentration study plan

(1) Selection of suggested measuring spots

Based on the results of the fiscal 2014 study and other data, suggested measuring spots for the fiscal 2015 study were selected. Due to the effect of the Great East Japan Earthquake, the spots in Fukushima prefectures were excluded because these spots were investigated in other research.

The study included 107 points at 44 spots for 492 samples in total. Among these, 65 points in 33 spots for 390 samples are identical to those in the studies for fiscal years 1995, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012 ,2013 and 2014.

The measurement of airborne asbestos concentration study was conducted in accordance with the Asbestos Monitoring Manual, Fourth Edition (June 2010 by the Air Environment Division, Environmental Management Bureau, Ministry of the Environment).

In accordance with the Asbestos Monitoring Manual, Fourth Edition, analytical scanning electron microscopic measurements were carried out with respect to spots (4 points in 10 spots providing 17 samples) that showed the total fiber concentrations above 1.0 fiber/L in the monitoring study.

(2) Scheduling of dates for measurements

After the schedules of the parties involved were coordinated, all measurements were made during the period between October 19, 2015 and February 4, 2016.

(3) Preparation of measurement accuracy control method (draft) and organizing of MOE-designated seminar

Following a review by the study group consisting of experts, a draft accuracy control plan was prepared. An MOE-designated seminar was organized for the benefit of firms that provide total fiber concentration measurement services, inviting as lecturer one of the members of the Study Group.

4.2 Compilation of the airborne asbestos concentration study findings

(1) Measurements of the airborne asbestos concentration (by optical microscope)

With respect to the measurement of airborne asbestos concentration in the surroundings of asbestos sources (former manufacturing sites of asbestos products, waste disposal sites, building demolition sites, serpentine areas, highways and main roads), the measured values were adopted as such only after testing their validity by checking the wind direction, wind velocity, etc. at the time of sampling.

A summary of measurements at various areas is shown in Table 1. The measurements at “Dust collector outlet” and the like are shown for the purpose of reference.

The study on airborne asbestos concentration (by optical microscope) found that the total fiber concentrations of 155 data were equal to or less than 1.0 fiber /L among 172.

Table 1 Summary of optical microscopic measurements by area category

| Area category | Number of spots | Number of points measured | Number of data | Number of ND data | Total fiber concentration | | |
|-----------------|---|---------------------------|----------------|-------------------|---------------------------|---------------------|----------------------------|
| | | | | | Minimum (fiber / L) | Maximum (fiber / L) | Geometric mean (fiber / L) |
| Surroundings | Former manufacturing site of asbestos products | 1 | 6 | 12 | 2 | 0.056 | 5.5 |
| | Waste disposal site | 7 | 14 | 18 | 1 | 0.070 | 0.68 |
| | Building demolition site (surroundings of the building) | 2 | 8 | 8 | 0 | 0.056 | 1.5 |
| | Serpentine area | 2 | 4 | 8 | 0 | 0.088 | 0.30 |
| | Highway & main road | 6 | 12 | 24 | 1 | 0.056 | 0.37 |
| Background area | Residential | 7 | 13 | 26 | 3 | 0.056 | 0.37 |
| | Commercial | 5 | 10 | 20 | 3 | 0.056 | 0.38 |
| | Agricultural | 1 | 2 | 4 | 0 | 0.10 | 0.23 |
| | Inland mountainous | 3 | 6 | 12 | 1 | 0.081 | 0.36 |
| | Remote island | 4 | 8 | 16 | 1 | 0.056 | 0.28 |
| Other areas | Crushing facilities | 4 | 20 | 20 | 4 | 0.056 | 2.1 |
| Total | | 42 | 103 | 168 | 16 | - | - |

| (Reference) measurements at ventilation outlets, etc. | Number of spots | Number of points measured | Number of data | Number of ND data | Total fiber concentration | | |
|---|-----------------|---------------------------|----------------|-------------------|---------------------------|---------------------|----------------------------|
| | | | | | Minimum (fiber / L) | Maximum (fiber / L) | Geometric mean (fiber / L) |
| Demolition site (Security zone exit and entrance) | (2) | 2 | 2 | 0 | 0.45 | 18 | 2.8 |
| Demolition site (Dust collector outlet) | (2) | 2 | 2 | 0 | 0.17 | 0.79 | 0.37 |
| Total | (2) | 4 | 4 | 0 | - | - | - |

- Note 1: A “demolition site” means a site where a building or similar structure is being demolished, reconstructed or repaired. “surroundings of the building” means the border area between the demolition site and the area to which the public has free access. “Security zone exit and entrance” means the exit and entrance to the chamber-like zone that is installed to prevent asbestos from drifting away at the time of entry/exit of site workers. “Dust collector outlet” means the area around the outer edge of dust-collection ventilation outlet and ventilation equipment.
- Note 2: The total fiber concentration measurements at each point were validated in accordance with the December 27, 1989 Notice No. 490 of the Director of Planning Division, Air Pollution Prevention Bureau, Environment Agency titled “Notice relating to implementation of the partial revision of the Air Pollution Control Act” (with the exception described in Note 3 below). Namely, measurements were made at each spot for 3 days (4 hours x 3 times), and the geometric mean of the data thus obtained was adopted as the total fiber concentration at the spot.
- Note 3: Some demolition works are completed in a short period of time. Accordingly, measurements were made at each spot for 1 day (No.39~40 : 2 hours x 1 time.) and the measured values were adopted as the total fiber concentration at the spot.
- Note 4: Numbers in parenthesis indicate that they are part of the total numbers for the demolition site.
- Note 5: The terms “area” and “spot” associated with the sampling locations were replaced by “spot” and “point”, respectively, based on discussions on the Fiscal 2009 Airborne Asbestos Concentration Study.

(2) Comparison with previous study results

For the purpose of comparison with previous studies, 57 points at 27 spots were selected this year from amongst the same spots which had been studied previously (fiscal years 1995, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013 and 2014). The results of the fiscal 2015 study are summarized in Table 2 according to area category for these spots. Results in comparison with the previous data are shown in Table 3 with a corresponding chart in Fig.1. These data suggest that the total fiber concentration remains at low levels because all the spots showed concentrations below 1 (fiber/L).

Table 2 Fiscal 2015 study results in previously studied areas

| Area category | Number of spots | Number of points measured | Number of data | Minimum (fiber / L) | Maximum (fiber / L) | Geometric mean (fiber / L) |
|--|-----------------|---------------------------|----------------|---------------------|---------------------|----------------------------|
| Former manufacturing site of asbestos products | 1 | 6 | 12 | 0.056 | 5.5 | 0.33 |
| Waste disposal site | 2 | 4 | 8 | 0.070 | 0.43 | 0.19 |
| Serpentine area | 2 | 4 | 8 | 0.088 | 0.30 | 0.15 |
| Highway & main road | 6 | 12 | 24 | 0.056 | 0.37 | 0.14 |
| Residential | 7 | 13 | 26 | 0.056 | 0.37 | 0.14 |
| Commercial | 5 | 10 | 20 | 0.056 | 0.38 | 0.14 |
| Agricultural | 1 | 2 | 4 | 0.10 | 0.23 | 0.14 |
| Inland mountaineous | 2 | 4 | 8 | 0.10 | 0.36 | 0.21 |
| Remote island | 1 | 2 | 4 | 0.056 | 0.28 | 0.12 |
| Total | 27 | 57 | 114 | - | - | - |

Note 1: The total fiber concentration measurements at individual points were validated in accordance with the December 27, 1989 Notice No. 490 of the Director of Planning Division, Air Pollution Prevention Bureau, Environment Agency titled "Notice relating to implementation of the partial revision of the Air Pollution Control Act". Namely, measurements were made at each point for 3 days (4 hours x 3 times), and the geometric mean of the data thus obtained was adopted as the total fiber concentration at the point.

Note 2: Some areas studied were classified into different categories in the previous studies, but they are reclassified according to the fiscal 2015 area classification.

Table 3 Comparison of the fiscal 2015 study results in the areas also previously studied

| Area category | Geometric mean (fiber / L) | | | | | | | | | | |
|--|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | FY2005 | FY2006 | FY2007 | FY2008 | FY2009 | FY2010 | FY2011 | FY2012 | FY2013 | FY2014 | FY2015 |
| Former manufacturing site of asbestos products | 0.98 | 0.56 | 0.35 | 0.09 | 0.25 | 0.07 | 0.10 | 0.21 | 0.19 | 0.15 | 0.33 |
| Waste disposal site | 1.86 | 0.86 | 0.35 | 0.23 | 0.31 | 0.14 | 0.15 | 0.29 | 0.26 | 0.22 | 0.19 |
| Serpentine area | 0.86 | 0.66 | 0.46 | 0.21 | 0.30 | 0.11 | 0.10 | 0.18 | 0.24 | 0.21 | 0.15 |
| Highway & main road | 1.13 | 1.08 | 0.59 | 0.30 | 0.88 | 0.14 | 0.21 | 0.36 | 0.29 | 0.18 | 0.14 |
| Residential | 0.81 | 0.45 | 0.37 | 0.21 | 0.43 | 0.08 | 0.10 | 0.18 | 0.22 | 0.19 | 0.14 |
| Commercial | 0.66 | 0.55 | 0.33 | 0.18 | 0.33 | 0.13 | 0.12 | 0.33 | 0.25 | 0.18 | 0.14 |
| Agricultural | 0.49 | 1.00 | 0.45 | 0.17 | 0.75 | 0.11 | 0.18 | 0.34 | 0.27 | 0.15 | 0.14 |
| Inland mountaineous | 0.72 | 0.68 | 0.45 | 0.20 | 0.51 | 0.10 | 0.09 | 0.23 | 0.25 | 0.14 | 0.21 |
| Remote island | 0.24 | 0.90 | 0.48 | 0.11 | 0.35 | 0.14 | 0.06 | 0.33 | 0.31 | 0.34 | 0.12 |

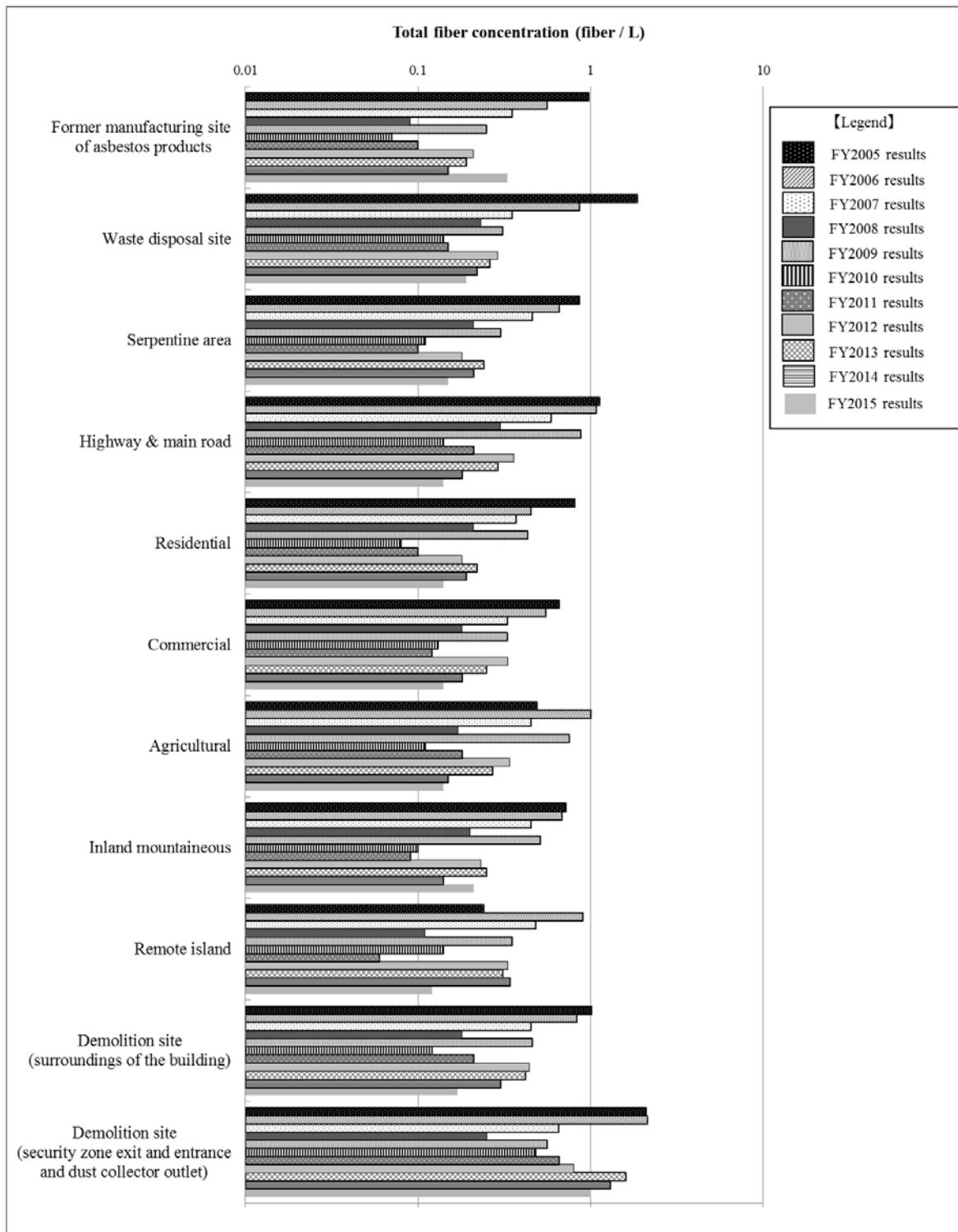


Fig. 1 Comparison of the fiscal 2015 study results in the areas also previously studied

4.3 Summary of the Results of the Airborne Asbestos Concentration Study Implemented by Local Governments

The report of investigation for determined in the studies on airborne asbestos concentrations conducted by local governments in 2015 was submitted to the Ministry of the Environment.

4.4 Measurements at Demolition Sites and the Like and Crushing Facilities

In the study, measurements were carried out at 2 demolition sites and the like and 4 crushing facilities.

At each demolition site, measurements were carried out at area surroundings of the building, an area at the security zone exit and entrance and an area at the dust collector outlet.

Also, at each crushing facility, measurements were carried out at site border points and an area near the crushing machine.

In some demolition sites and crushing facilities, the optical microscopic measurement was able to determine the total fiber concentration exceeding 1.0 fiber/L. An analysis using an analytical scanning electron microscope showed the presence of asbestos fiber at 1points.

4.5 Measurement for field management at Demolition Sites and the Like

In this study, we conducted the measurements using fibrous aerosol monitors to check whether asbestos are scattered from locations such as demolition sites at the same time with the airborne asbestos concentration study.

2 sites including demolition sites were selected for this study and the measurements were carried out around two points: the security zone exit and entrance and the dust collector outlet.

Table 4 lists the 1 manufacturers of fibrous aerosol monitors in charge of the investigations at each spot. The study is continuing in order to analyze the data and to accumulate further knowledge and to improve the technology.

Table 4 Assignment of the sites for fibrous aerosol monitoring

| No. | Locations | Date | Aemotech Inc. |
|-----|-----------|------------|---------------|
| 39 | Tottori | 2015/12/14 | ○ |
| 40 | Tokyo | 2015/12/25 | ○ |

4.6 Study of asbestos analysis by the phase- contrast/polarized-light microscopy and phase- contrast / fluorescence microscopy

Analytical accuracy data for phase-contrast/polarized-light microscopy and phase-contrast /fluorescence microscopy, the expeditious measurement methods at demolition sites, were collected.

Asbestos fibers were measured by each microscopy not as asbestos percentage (%) but as asbestos fiber concentration (fiber/L) in accordance with the Asbestos Monitoring Manual. As a result, the measurement results of each microscopy were correlated with the measurement results of electron microscopy, therefore, both of the microscopy were considered to be sufficient to compensate for the measurement result of the PCM method as well as the electron microscopy.

By collecting the data of each microscopy continuously and comparing them with the data of the electron microscopy, these two methods are expected to be established as a method of measuring the asbestos fiber concentration.

第Ⅰ章 アスベスト大気濃度調査計画の策定等

1. 測定対象地点案の作成と測定項目

平成26年度調査の調査結果等をもとに、平成27年度の測定地点案を選定した。但し、東日本大震災の影響により、福島県に関しては、「東日本大震災の被災地におけるアスベスト対策支援等業務」で調査対象としているため、本調査では対象外とした。

測定対象とした地点数は、総計で44地点、107箇所、492試料であった。なお、このうち、33地点、65箇所、390試料は平成7年度、平成17年度～平成25年度に実施した地点と同一である。本調査では、「アスベストモニタリングマニュアル第4.0版」（平成22年6月環境省 水・大気環境局大気環境課）により測定を行った。

モニタリング調査を行った地点において総纖維数濃度が1.0本/Lを超えた地点(4地点、10箇所、17試料)については、「アスベストモニタリングマニュアル第4.0版」に従って、分析走査電子顕微鏡法による測定を行った。

測定地点及び測定箇所数等の一覧を表Ⅰ-1に示す。

表Ⅰ-1(1) 測定地点及び測定箇所数等の一覧

| 地点No. | 地域分類 | 都道府県 | 市又は郡 | 地域名・事業場名等 | 所在地 | 1地点当たりの箇所数 | サンプリング日数 | 年間測定回数 | 光学顕微鏡法での検体数 |
|-------|---------|------|------|-----------|-----|------------|----------|--------|-------------|
| 34 | 廃棄物処分場等 | 宮城県 | - | - | - | 2 | 3 | 1 | 6 |
| 35 | | 三重県 | - | - | - | 2 | 3 | 1 | 6 |
| 36 | | 秋田県 | - | - | - | 2 | 3 | 1 | 6 |
| 37 | | 広島都 | - | - | - | 2 | 3 | 1 | 6 |
| 38 | | 福島県 | - | - | - | 2 | 3 | 1 | 6 |
| 39 | 解体現場等 | 鳥取県 | - | - | - | 6 | 1 | 1 | 6 |
| 40 | | 東京都 | - | - | - | 6 | 1 | 1 | 6 |
| 51 | 破碎施設 | 東京都 | - | - | - | 5 | 3 | 1 | 15 |
| 52 | | 山梨県 | - | - | - | 5 | 3 | 1 | 15 |
| 53 | | 秋田県 | - | - | - | 5 | 3 | 1 | 15 |
| 54 | | 鹿児島県 | - | - | - | 5 | 3 | 1 | 15 |

表 I-1(2) 測定地点及び測定箇所数等の一覧

| 地点No. | 地域分類 | 都道府県 | 市又は郡 | 地域名・事業場名等 | 所在地 | 1地点当たりの箇所数 | サンプリング日数 | 年間測定回数 | 光学顕微鏡法での検体数 |
|-------|------------------|------|------|-----------------------------|------------------------|------------|----------|--------|-------------|
| 2 | 【継続】旧石綿製品製造事業場等 | 北海道 | 富良野市 | (株)ノザワ フラノ工場 (旧北海道工場) | 山部地区 | 6 | 3 | 2 | 36 |
| 10 | 【継続】廃棄物処分場等 | 福島県 | いわき市 | 福島県いわき処分場保全センター※ | 鹿島町上藏持字鈴ノ沢111-40 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | | 東京都 | 江東区 | 中央防波堤埋立処分場 | 青梅2丁目先 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 18 | | 大阪府 | 堺市 | 堺第7-3区廃棄物処分場 (旧中間処理センター) | 築港新町 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 6 | 【継続】蛇紋岩地域 | 岩手県 | 遠野市 | 遠野市蛇紋岩採石場 | 宮守町下宮守 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 30 | | 福岡県 | 糟屋郡 | 糟屋郡旧蛇紋岩採石場 | 篠栗町 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 4 | 【継続】高速道路及び幹線道路沿線 | 岩手県 | 盛岡市 | 国道4号線盛岡バイパス | 中野2丁目 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 9 | | 山形県 | 米沢市 | 国道13号線 | 中田町1969-2 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 15 | | 神奈川県 | 川崎市 | 川崎市幹線道路 | 高津区子母口565 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 17 | | 愛知県 | 名古屋市 | 県道名古屋長久手線 | 千種区 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 25 | | 広島県 | 広島市 | 山陽自動車道五日市インター | 佐伯区五日市町石内 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 29 | | 福岡県 | 福岡市 | 国道3号線千鳥橋交差点 | 博多区千代6丁目 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 1 | 【継続】住宅地域 | 北海道 | 富良野市 | 富良野市住宅地域 | 弥生町 | 1 | 3 | 2 | 6 |
| 3 | | 岩手県 | 盛岡市 | 盛岡市住宅地域 | 加賀野3丁目 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 5 | | 岩手県 | 釜石市 | 釜石市住宅地域 | 新町 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 8 | | 山形県 | 米沢市 | 山形県立米沢女子短期大学 | 通町6-15-1 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 16 | | 愛知県 | 名古屋市 | 名古屋市住宅地域 | 千種区 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 22 | | 奈良県 | 奈良市 | 奈良県農協会館 | 大森町57-3 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 28 | | 福岡県 | 福岡市 | 福岡市住宅地域 | 博多区吉塚1丁目8-1 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 13 | 【継続】商工業地域 | 東京都 | 江東区 | 東京都環境科学研究所 | 新砂1丁目7-5 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 14 | | 神奈川県 | 川崎市 | 大師中央地域包括支援センター及び川崎区役所大師支所 | 台町26-7及び東門前2-1-1 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 19 | | 大阪府 | 堺市 | 堺港湾合同庁舎 | 石津西町 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 20 | | 兵庫県 | 尼崎市 | 国設一般大気環境測定期前及び兵庫県尼崎総合庁舎 | 東難波町4-9-12及び東難波町5-21-8 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 21 | | 大阪府 | 泉南市 | 双子川浄苑 | 信達大苗代159 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 26 | 【継続】農業地域 | 福岡県 | 小郡市 | 国設筑後小郡環境大気測定所 | 大字井上尾辺田 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 7 | 【継続】内陸山間地域 | 宮城県 | 遠田郡 | 国設籠岳局 | 涌谷町小塚字桜清水2-1-1 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 11 | | 福島県 | いわき市 | 廃棄物処分場から800m離れたバックグラウンド地域※ | 鹿島町上藏持字鈴ノ沢 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 24 | | 広島県 | 広島市 | 南原岐県立自然公園 | 安佐北区可部町南原 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 27 | | 福岡県 | 福岡市 | 千石の郷 | 早良区石釜333-2 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 23 | 【継続】離島地域 | 島根県 | 隠岐郡 | 国設隠岐局 | 隠岐の島町北方福浦1700 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 31 | | 佐賀県 | 唐津市 | 小川島 | 呼子町小川島 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 32 | | 長崎県 | 対馬市 | 国設対馬酸性雨測定所 | 厳原町北里字大多羅 | 2 | 3 | 2 | 12 |
| 33 | | 沖縄県 | 国頭郡 | 国設辺戸岬酸性雨測定所 | 国頭村字宜名真地内 | 2 | 3 | 2 | 12 |

※東日本大震災の被災地におけるアスベスト対策支援等業務にて調査を実施した。

2. 測定日の調整及びスケジュール管理

調査は平成27年10月19日～平成28年2月4日に実施した。

各調査地域の調査実施日は表 I -2に示すとおりである。

表 I -2(1) 調査地域の調査実施日

| 地点 No. | 地域分類 | 都道府県 | 地域名・事業場名等 | 調査期間 | |
|-----------|----------------------|------|--------------------------------|--|---------------------|
| 1 | 【継続】 住宅地域 | 北海道 | 富良野市住宅地域 | 平成27年11月11日～13日 | 平成28年1月20日～22日 |
| 2 | 【継続】 旧石綿製品製造事業場等 | 北海道 | (株)ノザワ フラノ工場(旧北海道工場) | 平成27年11月11日～13日 | 平成28年1月20日～22日 |
| 3 | 【継続】 住宅地域 | 岩手県 | 盛岡市住宅地域 | 平成27年10月19日～21日 | 平成27年12月21日～22日～24日 |
| 4 | 【継続】 高速道路及び幹線道路沿線 | 岩手県 | 国道4号線盛岡バイパス | 平成27年10月19日～21日 | 平成27年12月21日～22日～24日 |
| 5 | 【継続】 住宅地域 | 岩手県 | 釜石市住宅地域 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 6 | 【継続】 蛇紋岩地域 | 岩手県 | 遠野市蛇紋岩採石場 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 7 | 【継続】 内陸山間地域 | 宮城県 | 国設箇岳局 | 平成27年11月16日～18日 | 平成28年1月19日～21日 |
| 8 | 【継続】 住宅地域 | 山形県 | 山形県立米沢女子短期大学 | 平成27年10月26日～28日 | 平成27年12月14日～16日 |
| 9 | 【継続】 高速道路及び幹線道路沿線 | 山形県 | 国道13号線 | 平成27年10月26日～28日 | 平成27年12月14日～16日 |
| 10 | 【継続】 廃棄物処分場等 | 福島県 | 福島県いわき処分場保全センター | 平成27年度東日本大震災の被災地におけるアスベスト対策 支援等業務にて調査 | |
| 11 | 【継続】 内陸山間地域 | 福島県 | 廃棄物処分場から800m離れたバッケージ ラウンド地域 | | |
| 12 | 【継続】 廃棄物処分場等 | 東京都 | 中央防波堤埋立処分場 | 平成27年10月27日～29日 | 平成28年1月19日～21日 |
| 13 | 【継続】 商工業地域 | 東京都 | 東京都環境科学研究所 | 平成27年10月27日～29日 | 平成28年1月19日～21日 |
| 14 | 【継続】 商工業地域 | 神奈川県 | 大師中央地域包括支援センター及び川崎区役所大師支所 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 15 | 【継続】 高速道路及び幹線道路沿線 | 神奈川県 | 川崎市幹線道路 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 16 | 【継続】 住宅地域 | 愛知県 | 名古屋市住宅地域 | 平成27年10月20日～22日 | 平成28年2月2日～4日 |
| 17 | 【継続】 高速道路及び幹線道路沿線 | 愛知県 | 県道名古屋長久手線 | 平成27年10月20日～22日 | 平成28年2月2日～4日 |
| 18 | 【継続】 廃棄物処分場等 | 大阪府 | 堺第7-3区廃棄物処分場(旧中間処理センター) | 平成27年10月27日～29日 | 平成28年1月26日～28日 |
| 19 | 【継続】 商工業地域 | 大阪府 | 堺港湾合同庁舎 | 平成27年10月27日～29日 | 平成28年1月26日～28日 |
| 20 | 【継続】 商工業地域 | 兵庫県 | 国設一般大気環境測定期前及び兵庫県尼崎総合庁舎 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月19日～21日 |
| 21 | 【継続】 商工業地域 | 大阪府 | 双子川浄苑 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 22 | 【継続】 住宅地域 | 奈良県 | 奈良県農協会館 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月25日～27日 |
| 23 | 【継続】 離島地域 | 島根県 | 国設隱岐局 | 平成27年10月21日～23日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 24 | 【継続】 内陸山間地域 | 広島県 | 南原岐阜県立自然公園 | 平成27年10月28日～30日 | 平成27年12月2日～4日 |
| 25 | 【継続】 高速道路及び幹線道路沿線 | 広島県 | 山陽自動車道五日市インター | 平成27年10月28日～30日 | 平成27年12月2日～4日 |
| 26 | 【継続】 農業地域 | 福岡県 | 国設筑後小郡環境大気測定所 | 平成27年11月4日～6日 | 平成27年12月8日～10日 |
| 27 | 【継続】 内陸山間地域 | 福岡県 | 千石の郷 | 平成27年11月4日～6日 | 平成28年1月5日～7日 |
| 28 | 【継続】 住宅地域 | 福岡県 | 福岡市住宅地域 | 平成27年10月20日～22日 | 平成28年1月15日～17日 |
| 29 | 【継続】 高速道路及び幹線道路沿線 | 福岡県 | 国道3号線千鳥橋交差点 | 平成27年11月4日～6日 | 平成28年1月19日～21日 |
| 30 | 【継続】 蛇紋岩地域 | 福岡県 | 糟屋郡旧蛇紋岩採石場 | 平成27年11月19日～20日～24日 | 平成28年1月12日～14日 |
| 31 | 【継続】 離島地域 | 佐賀県 | 小川島 | 平成27年11月10日～12日 | 平成28年1月13日～15日 |
| 32 | 【継続】 離島地域 | 長崎県 | 国設対馬酸性雨測定所 | 平成27年11月25日～27日 | 平成27年12月15日～17日 |
| 33 | 【継続】 離島地域 | 沖縄県 | 国設辺戸岬酸性雨測定所 | 平成27年10月28日～30日 | 平成27年12月8日～10日 |

表 I -2(2) 調査地域の調査実施日

| 地点 No. | 地域分類 | 都道府県 | 地域名・事業場名等 | 調査期間 |
|-----------|---------|------|-----------|---------------------|
| 34 | 廃棄物処分場等 | 宮城県 | - | 平成27年11月30日～12月2日 |
| 35 | 廃棄物処分場等 | 三重県 | - | 平成28年1月13日～15日 |
| 36 | 廃棄物処分場等 | 秋田県 | - | 平成27年11月30日～12月2日 |
| 37 | 廃棄物処分場等 | 広島県 | - | 平成27年12月21日・22日・24日 |
| 38 | 廃棄物処分場等 | 福島県 | - | 平成27年12月7日～9日 |
| 39 | 解体現場等 | 鳥取県 | - | 平成27年12月14日 |
| 40 | 解体現場等 | 東京都 | - | 平成27年12月25日 |
| 51 | 破碎施設 | 東京都 | - | 平成28年1月25日～27日 |
| 52 | 破碎施設 | 山梨県 | - | 平成28年1月19日～21日 |
| 53 | 破碎施設 | 秋田県 | - | 平成27年12月7日～9日 |
| 54 | 破碎施設 | 鹿児島県 | - | 平成28年1月26日～28日 |

3. 測定精度管理方法案の作成及び環境省指定講習会の実施内容等

当該調査を行うに当たって、総纖維数濃度の測定を実施する測定業者に対して、測定精度管理が円滑に実施されるよう環境省指定講習会を受講させた。

本年度のアスベスト大気濃度調査の測定精度管理は、①測定業者に対する講習会等による技術レベルアップと統一化、②測定機関での精度管理計画書の作成により行った。

本年度の測定業者は、アスベスト大気濃度調査は環境総合研究機構株式会社、アスベスト大気濃度調査（分析走査電子顕微鏡法）は株式会社アイテックリサーチが行った。

3. 1 測定業者に対する講習会等

(1) 環境省指定講習会（サンプリングに関する講習会）

1) 日時：平成 27 年 10 月 15 日（木）13：30～16：00

2) 場所：公益社団法人日本作業環境測定協会 精度管理センター

3) 講師：小西委員

4) 受講者：環境総合研究機構株式会社 12 名

5) 講習会の概要：

①調査日程に関して、処分場等のサンプリングの場合は、稼働日を考慮する。

②使用するフィルターについて、 $\phi 47 \text{ mm}$ 、口径 $0.8 \mu\text{m}$ の格子が印刷されていないメンブランフィルターを使用する事。できればロットを統一することが望ましい。

③フィルターの交換に関して、デジタル粉じん計等を利用して、浮遊粉じんの量を推定し、適宜フィルターを交換する事。但し、原則 1 回の測定に使用するフィルターは、4 枚までとする。

④サンプリングに関して、特に理由がない限り平日昼間(10 時～16 時)の連続する 3 日間とする。但し、前日、当日が強風又は降雨等の場合は、原則として捕集を避けること。測定開始後に降雨があった場合は、傘などで覆いをするなど工夫をすること。

⑤サンプリングに使用するホルダーは、原則カウル付の物を使用する事。個別で作成する場合は、空気の漏れには十分注意する事。また、既製品の中でもホルダーの種類によって、面速が異なるので、注意が必要である。その場合、できれば使用するホルダーの面速をあらかじめ測定しておくことが望ましい。

⑥廃棄物処理場などでは、可能な限りバルク等の採取する事。

⑦解体現場や廃棄物処分場等では、搬入されている建材や吹付材などに含まれるアスベストの含有データがあれば確認をしておくこと。特に解体現場では、粉じん発生作業に係る作業時間、作業内容などをヒアリングしておくこと。

⑧サンプリングポンプは、基準流量計などを使用し校正を行っておくこと。

⑨現場でのサンプリングの際に気付いた事項は纖維を計数する際に極めて重要な情報となるので、必ず現場野帳に記載をし、分析者に知らせること。

⑩採取後、ろ紙をペトリスライドなどに入れておく場合は、内面に静電防止剤等を塗って乾燥させたものを使用する事。

⑪解体現場のサンプリング時間を昨年度の 4 時間から 2 時間に変更。それに伴い、野帳も変更する。

⑫解体現場の集じん機排気口及びセキュリティゾーン出入口の測定は、事業者の協力が得られれば、内側にてリアルタイムモニターに加え、デジタル粉じん計及びパーティクルカウンターの測定を行う。

⑬集じん機排気口での測定においては、現場の排気ダクトに別途ダクトを取り付けるなどの加工を行う。ダクト内の排出ガスを採取するように、フィルター、デジタル粉じん計、パーティクルカウンター及びリアルタイムモニターの各採取管をダクト内に設置する。



(2) 環境省指定講習会（分析に関する講習会（位相差顕微鏡））

1) 日時：平成 27 年 10 月 16 日（金）10：00～16：00

2) 場所：公益社団法人日本作業環境測定協会 精度管理センター

3) 講師：小西委員

4) 受講者：環境総合研究機構株式会社 3 名

5) 講習会の概要

①アスベストマニュアルに沿った分析方法の講義

②ろ紙に大量に積層した場合の測定方法

- ・低温灰化法を用いる。

- ・ろ紙を無塵水にて洗浄し、改めてろ紙に付着させる。

（その際には、超音波洗浄は行わないようとする。繊維が壊れて短くなる可能性がある為）

③レンズの使用について

- ・[DL、DLL、DM、BM]等の使い分け

④測定時間及び休憩等について

- ・できれば、計測は、午前中に行う方がベター。午後は、誤差が大きくなる。

- ・計測中は、計測作業の中断はしないこと。計数精度が落ちる。

「計測中は、話しかけるな!!」　ストレスが掛かったら休憩をすること。

- ・1枚計測が終わったら休憩して目を休めること。

【質問】3日間測定の場合、1日分を低温灰化処理した場合、その他の日の分は、そのまま測定でも良いのか。

⇒総繊維と無機総繊維となるため、低温灰化を行った場合は、3日間とも低温灰化を行って計算を行なったほうが良い。解体現場におけるろ紙も一緒。

⑤実計測講習

- ・顕微鏡調整の確認。

- ・日測協アスベスト「認定分析技術者」：Cランクを確認

6) 講習の結果

受講者 3名中 2名合格。それぞれに修了証を発行。

(3) 分析走査電子顕微鏡による分析技術指導

1) 日時：平成27年10月20日（金）14:00.～16:00

2) 場所：株式会社アイテックリサーチ

3) 指導：平野委員

4) 受講者：株式会社アイテックリサーチ

5) 指導講習の概要：

① 試料の前処理方法の確認・指導

② 使用機材の確認

③ 電子顕微鏡による計数及び同定についての確認・指導

・観察及び分析条件

・観察画面倍率

・標準試料を用いた寸法校正

・EDSによるアスベストの同定

・参考資料による指導

3. 2 精度管理計画書

アスベストモニタリングマニュアル（第4.0版）に従い、測定業者より以下の精度管理計画書を提出させた。精度管理計画書の内容は、アスベストモニタリングマニュアルに準拠しており適正な記載状況であった。

- ・「平成27年度アスベスト大気濃度調査業務精度管理計画書」
- ・「平成27年度アスベスト大気濃度調査（分析走査電子顕微鏡法）業務精度管理計画書」

第Ⅱ章 アスベスト大気濃度調査結果の取りまとめ

1. 全測定地点の調査結果

平成27年度調査において光学顕微鏡法によって測定を行った地点数は、44地点、107箇所、492試料である。

光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果を表Ⅱ-1に示す。

表Ⅱ-1 (1) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|--------------------------|------------|---------------------|------------|----------|------------------------|-------------|------------------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) 総纖維 |
| | | | | | | | 0.056 0.056 0.17 | 1 1 1 | 0.081 |
| 1 | 北海道 | 富良野市住宅地域 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 2015/11/11 | ① 定点 | 0.056 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 0.056 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.17 | 1 | 0.081 |
| | | | | | 2016/1/20 | ① 定点 | 0.11 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 0.11 | 1 | 0.11 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 0.11 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/11 | ① 定点 | 2.9 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 0.51 | 1 | 0.55 |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.11 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/11 | ② 定点 | 0.22 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 0.056 | 1 | 0.15 |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.28 | 1 | |
| 2 | 北海道 | (株)ノザワ フラノ工場 (旧北海道工場) | 継続調査 地域 | 旧石綿製 品製造事 業場等 | 2015/11/11 | ③ 定点 | 1.5 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 1.5 | 1 | 0.73 |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.17 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/11 | ④ 定点 | 0.056 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 0.28 | 1 | 0.12 |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.11 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/11 | ⑤ 定点 | 0.17 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 | 0.16 |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.22 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/11 | ⑥ 定点 | 0.056 | 1 | |
| | | | | | 2015/11/12 | | 0.056 | 1 | 0.056 |
| | | | | | 2015/11/13 | | 0.056 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/20 | ① 定点 | 2.3 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 0.73 | 1 | 1.4 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 1.5 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/20 | ② 定点 | 1.1 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 0.34 | 1 | 0.95 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 2.3 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/20 | ③ 定点 | 1.5 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 25 | 1 | 5.5 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 4.5 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/20 | ④ 定点 | ND | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 0.11 | 1 | 0.12 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 0.28 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/20 | ⑤ 定点 | ND | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 0.11 | 1 | 0.13 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 0.39 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/20 | ⑥ 定点 | 0.34 | 1 | |
| | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 | 0.22 |
| | | | | | 2016/1/22 | | 0.56 | 1 | |

表II-1(2) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|-------------|------------|------------|------|------------|---------|------------|-----------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) |
| | | | | | | | 総繊維 | | 総繊維 |
| 3 | 岩手県 | 盛岡市住宅地域 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 第1期 | 2015/10/19 | ① 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/20 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/19 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/20 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/21 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/22 | | ND | 1 |
| | | | | | | 2015/12/24 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/21 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/22 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/24 | | 0.11 | 1 |
| 4 | 岩手県 | 国道4号線盛岡バイパス | 継続調査 地域 | 幹線道路 沿線 | 第1期 | 2015/10/19 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/20 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/19 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/20 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/21 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/22 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/24 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/21 | ② 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/22 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/24 | | 0.11 | 1 |
| 5 | 岩手県 | 釜石市住宅地域 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | ND | 1 |
| | | | | | | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | ND | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.056 | 1 |
| 6 | 岩手県 | 遠野市蛇紋岩採石場 | 継続調査 地域 | 蛇紋岩地 域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.34 | 1 |
| 7 | 宮城県 | 国設籠岳局 | 継続調査 地域 | 内陸山間 地域 | 第1期 | 2015/11/16 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/17 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/18 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/16 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/17 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/18 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/19 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/19 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 |

表II-1(3) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|-----------------------------|------------|-------------|------|------------|---------|------------|-----------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) |
| | | | | | | | 総纖維 | | 総纖維 |
| 8 | 山形県 | 山形県立米沢女子短期大学 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 第1期 | 2015/10/26 | ① 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/27 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/26 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/27 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2015/12/14 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/15 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/16 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/14 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/15 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/16 | | 0.17 | 1 |
| 9 | 山形県 | 国道13号線 | 継続調査 地域 | 幹線道路 沿線 | 第1期 | 2015/10/26 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/27 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/26 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/27 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2015/12/14 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/15 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/16 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/14 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/15 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/16 | | 0.056 | 1 |
| 12 | 東京都 | 中央防波堤埋立処分場 | 継続調査 地域 | 廃棄物処 分場等 | 第1期 | 2015/10/27 | ① 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/27 | ② 定点 | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/19 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | ND | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/19 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 |
| 13 | 東京都 | 東京都環境科学研究所 | 継続調査 地域 | 商工業地 域 | 第1期 | 2015/10/27 | ① 定点 | 0.19 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/27 | ② 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.48 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/19 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.45 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/19 | ② 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.11 | 1 |
| 14 | 神奈川県 | 大師中央地域包括支援センター 及び 川崎区役所大師支所 | 継続調査 地域 | 商工業地 域 | 第1期 | 2015/11/11 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/11 | ② 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/12 | ① 定点 | ND | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | ND | 1 |

表II-1(4) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|----------------------------|------------|-------------|------|------------|---------|------------|-----------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) |
| | | | | | | | 総繊維 | | 総繊維 |
| 15 | 神奈川県 | 川崎市幹線道路 | 継続調査 地域 | 幹線道路 沿線 | 第1期 | 2015/11/11 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/11 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/13 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/12 | ① 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.11 | 1 |
| 16 | 愛知県 | 名古屋市住宅地域 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 第1期 | 2015/10/20 | ① 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.68 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/20 | ② 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/2/2 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/3 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/4 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/2 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/3 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/4 | | 0.34 | 1 |
| 17 | 愛知県 | 県道名古屋長久手線 | 継続調査 地域 | 幹線道路 沿線 | 第1期 | 2015/10/20 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/20 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.79 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/2/2 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/3 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/4 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/2 | ② 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/3 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2016/2/4 | | 0.34 | 1 |
| 18 | 大阪府 | 堺第7-3区廃棄処分場 (旧中間処理センター) | 継続調査 地域 | 廃棄物処 分場等 | 第1期 | 2015/10/27 | ① 定点 | 0.31 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.56 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.45 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/27 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/26 | ① 定点 | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/27 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/28 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/26 | ② 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/27 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/28 | | 0.056 | 1 |
| 19 | 大阪府 | 堺港湾合同庁舎 | 継続調査 地域 | 商工業地 域 | 第1期 | 2015/10/27 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/27 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/26 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/27 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/28 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/26 | ② 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/27 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/28 | | 0.056 | 1 |

表II-1(5) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|-------------------------|------------|------------|------|------------|---------|------------|-----------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) |
| | | | | | | | 総繊維 | | 総繊維 |
| 20 | 兵庫県 | 国設一般大気環境測定局前及び兵庫県尼崎総合庁舎 | 継続調査 地域 | 商工業地 域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/19 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/19 | ② 定点 | ND | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 |
| 21 | 大阪府 | 双子川淨苑 | 継続調査 地域 | 商工業地 域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.22 | 1 |
| 22 | 奈良県 | 奈良県農協会館 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/25 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/26 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/27 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/25 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/26 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/27 | | 0.28 | 1 |
| 23 | 島根県 | 国設隱岐局 | 継続調査 地域 | 離島地域 | 第1期 | 2015/10/21 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/23 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/23 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | ND | 1 |
| | | | | | | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.056 | 1 |
| 24 | 広島県 | 南原峡県立自然公園 | 継続調査 地域 | 内陸山間 地域 | 第1期 | 2015/10/28 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/30 | | 0.68 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/28 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/30 | | 0.56 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/2 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/3 | | ND | 1 |
| | | | | | | 2015/12/4 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/2 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/3 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/4 | | 0.056 | 1 |

表II-1(6) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|-------------------|------------|------------|------|------------|---------|------------|-----------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) |
| | | | | | | | 総繊維 | | 総繊維 |
| 25 | 広島県 | 山陽自動車道五日市 インター | 継続調査 地域 | 高速道路 沿線 | 第1期 | 2015/10/28 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.68 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/30 | | 0.45 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/28 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/30 | | 0.62 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2015/12/2 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/3 | | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/4 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/2 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/3 | | ND | 1 |
| | | | | | | 2015/12/4 | | 0.056 | 1 |
| 26 | 福岡県 | 国設筑後小郡環境大 気測定所 | 継続調査 地域 | 農業地域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2015/12/8 | ① 定点 | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/9 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/10 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/8 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/9 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/10 | | 0.11 | 1 |
| 27 | 福岡県 | 千石の郷 | 継続調査 地域 | 内陸山間 地域 | 第1期 | 2015/11/4 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/5 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/6 | | 0.51 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/4 | ② 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/5 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/6 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/5 | ① 定点 | 0.51 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/6 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/7 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/5 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/6 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/7 | | 0.28 | 1 |
| 28 | 福岡県 | 福岡市住宅地域 | 継続調査 地域 | 住宅地域 | 第1期 | 2015/10/20 | ① 定点 | 0.45 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/20 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/21 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/22 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2015/12/15 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/16 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/17 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/15 | ② 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/16 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/17 | | 0.056 | 1 |
| 29 | 福岡県 | 国道3号線千鳥橋交差点 | 継続調査 地域 | 幹線道路 沿線 | 第1期 | 2015/11/4 | ① 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/5 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/6 | | 0.51 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/4 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/5 | | 0.34 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/6 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/19 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/19 | ② 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/20 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/21 | | 0.056 | 1 |

表II-1(7) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|-------------|------------|------------|------|------------|---------|------------|-----------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) |
| | | | | | | | 総纖維 | | 総纖維 |
| 30 | 福岡県 | 糟屋郡旧蛇紋岩採石場 | 継続調査 地域 | 蛇紋岩地 域 | 第1期 | 2015/11/24 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/25 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/26 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/24 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/25 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/26 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/12 | ① 定点 | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/12 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/13 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.11 | 1 |
| 31 | 佐賀県 | 小川島 | 継続調査 地域 | 離島地 域 | 第1期 | 2015/11/10 | ① 定点 | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/10 | ② 定点 | 0.45 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/11 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/12 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/1/13 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/15 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/1/13 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/14 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2016/1/15 | | 0.056 | 1 |
| 32 | 長崎県 | 国設対馬酸性雨測定所 | 継続調査 地域 | 離島地 域 | 第1期 | 2015/11/25 | ① 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/26 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/27 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/11/25 | ② 定点 | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/26 | | 0.056 | 1 |
| | | | | | | 2015/11/27 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2016/12/15 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/12/16 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2016/12/17 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2016/12/15 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/12/16 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2016/12/17 | | 0.11 | 1 |
| 33 | 沖縄県 | 国設辺戸岬酸性雨測定所 | 継続調査 地域 | 離島地 域 | 第1期 | 2015/10/28 | ① 定点 | 0.39 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/30 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/10/28 | ② 定点 | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/29 | | 0.28 | 1 |
| | | | | | | 2015/10/30 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | 第1期 | 2015/12/8 | ① 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/9 | | 0.11 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/10 | | 0.17 | 1 |
| | | | | | 第2期 | 2015/12/8 | ② 定点 | 0.17 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/9 | | 0.22 | 1 |
| | | | | | | 2015/12/10 | | 0.11 | 1 |

表Ⅱ-1 (8) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | | |
|-----------|-----------|----------|-------------|------------|------|--|---------|------------|-----------|------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) | |
| | | | | | | | 総繊維 | | 総繊維 | |
| 34 | 宮城県 | - | 廃棄物処 分場等 | ※4 | - | 2015/11/30 2015/12/1 2015/12/2 | ① 風下 | 0.34 | 1 | 0.13 |
| | | | | | | | ND | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/11/30 2015/12/1 2015/12/2 | ② 風下 | 0.17 | 1 | 0.10 |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |
| | | | | | | 2016/1/13 2016/1/14 2016/1/15 2016/1/13 2016/1/14 2016/1/15 | ① 風下 | 0.11 | 1 | 0.16 |
| | | | | | | | 0.17 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.22 | 1 | | |
| | | | | | | 2016/1/13 2016/1/14 2016/1/15 | ② 風下 | 0.11 | 1 | 0.17 |
| | | | | | | | 0.22 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.22 | 1 | | |
| 35 | 三重県 | - | 廃棄物処 分場等 | ※4 | - | 2015/11/30 2015/12/1 2015/12/2 | ① 風下 | 0.17 | 1 | 0.19 |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/11/30 2015/12/1 2015/12/2 | ② 風下 | 0.22 | 1 | 0.16 |
| | | | | | | | 0.17 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/12/21 2015/12/22 2015/12/24 2015/12/21 2015/12/22 2015/12/24 | ① 風下 | 5.6 | 1 | 0.68 |
| | | | | | | | 0.51 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/12/21 2015/12/22 2015/12/24 | ② 風下 | 0.056 | 1 | 0.20 |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| 36 | 秋田県 | - | 廃棄物処 分場等 | ※5 | - | 2015/11/30 2015/12/1 2015/12/2 | ① 風下 | 0.28 | 1 | 0.22 |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/12/7 2015/12/8 2015/12/9 | ② 風下 | 0.34 | 1 | 0.20 |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 37 | 広島県 | - | 廃棄物処 分場等 | ※2 | - | 2015/12/21 2015/12/22 2015/12/24 2015/12/21 2015/12/22 2015/12/24 | ① 風下 | 0.28 | 1 | 0.68 |
| | | | | | | | 0.51 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/12/21 2015/12/22 2015/12/24 | ② 風下 | 0.056 | 1 | 0.20 |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 38 | 福島県 | - | 廃棄物処 分場等 | ※3 | - | 2015/12/7 2015/12/8 2015/12/9 | ① 風下 | 0.28 | 1 | 0.22 |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| | | | | | | 2015/12/7 2015/12/8 2015/12/9 | ② 風下 | 0.34 | 1 | 0.20 |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

・参考地域分類

| | |
|----|--------------------------------|
| ※2 | 石綿含有廃棄物を埋め立てている（許可あり）安定型最終処分場 |
| ※3 | 石綿含有廃棄物を埋め立てていない（許可なし）安定型最終処分場 |
| ※4 | 廃石綿等を埋め立てている（許可あり）管理型最終処分場 |
| ※5 | 廃石綿等を埋め立てていない（許可なし）管理型最終処分場 |

表II-1(9) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | |
|-----------|-----------|----------|-----------|------------|------|---------------------------------------|--------|------------|------------------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) 総繊維 |
| 39 | 鳥取県 | - | 解体現場 等 | 解体現場 | - | ① 2015/12/14 セキュリティゾーン出 入口内側 | 0.45 | 1 | — |
| | | | | | | ② 2015/12/14 集じん機 排気口 | 0.79 | 1 | |
| | | | | | | ③ 2015/12/14 敷地境界 | 0.056 | 1 | |
| | | | | | | ④ 2015/12/14 敷地境界 | 0.11 | 1 | |
| | | | | | | ⑤ 2015/12/14 敷地境界 | 0.056 | 1 | |
| | | | | | | ⑥ 2015/12/14 敷地境界 | 0.11 | 1 | |
| 40 | 東京都 | - | 解体現場 等 | 解体現場 | - | ① 2015/12/25 セキュリティゾーン出 入口内側 | 18 | 1 | — |
| | | | | | | ② 2015/12/25 集じん機 排気口 | 0.17 | 1 | |
| | | | | | | ③ 2015/12/25 敷地境界 | 0.28 | 1 | |
| | | | | | | ④ 2015/12/25 敷地境界 | 0.11 | 1 | |
| | | | | | | ⑤ 2015/12/25 敷地境界 | 1.5 | 1 | |
| | | | | | | ⑥ 2015/12/25 敷地境界 | 0.39 | 1 | |

表II-1(10) 光学顕微鏡法によるアスベスト大気濃度調査の計数結果

| 地点 No. | 都道府 県名 | 地域名・事務所等 | 地域分類 | 参考地域 分類 | 調査期間 | 箇所 番号 | 光学顕微鏡法 | | | |
|-----------|-----------|----------|------|------------|------|--|-------------------|------------|-----------|------|
| | | | | | | | (本/L) | フィルタ 枚数 | 幾何平均(本/L) | |
| | | | | | | | 総繊維 | | 総繊維 | |
| 51 | 東京都 | - | 破碎施設 | 破碎施設 | - | 2016/1/25 2016/1/26 2016/1/27 2016/1/25 2016/1/26 2016/1/27 2016/1/25 2016/1/26 2016/1/27 2016/1/25 2016/1/26 2016/1/27 2016/1/25 2016/1/26 2016/1/27 2016/1/25 2016/1/26 2016/1/27 | ① 破碎施設 敷地境界 | 0.39 | 1 | 0.56 |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| | | | | | | | 1.3 | 1 | | |
| | | | | | | ② 破碎施設 敷地境界 | 0.45 | 1 | 0.57 | |
| | | | | | | | 0.45 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.90 | 2 | | |
| | | | | | | ③ 破碎施設 敷地境界 | 0.51 | 1 | 0.40 | |
| | | | | | | | 0.45 | 2 | | |
| | | | | | | | 0.28 | 1 | | |
| | | | | | | ④ 破碎施設 敷地境界 | 0.22 | 1 | 0.24 | |
| | | | | | | | 0.28 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.22 | 1 | | |
| | | | | | | ⑤ 破碎機付近 | 1.8 | 8 | 2.1 | |
| | | | | | | | 1.9 | 8 | | |
| | | | | | | | 2.9 | 8 | | |
| 52 | 山梨県 | - | 破碎施設 | 破碎施設 | - | 2016/1/19 2016/1/20 2016/1/21 | 0.056 | 1 | 0.070 | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | | ND | 1 | | |
| | | | | | | ② 破碎施設 敷地境界 | 0.056 | 1 | 0.056 | |
| | | | | | | | ND | 1 | | |
| | | | | | | | ND | 1 | | |
| | | | | | | ③ 破碎施設 敷地境界 | 0.11 | 1 | 0.088 | |
| | | | | | | | ND | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | ④ 破碎施設 敷地境界 | 0.056 | 1 | 0.13 | |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | ⑤ 破碎施設 敷地境界 | 0.34 | 1 | 0.30 | |
| | | | | | | | 0.28 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.28 | 1 | | |
| 53 | 秋田県 | - | 破碎施設 | 破碎施設 | - | 2015/12/7 2015/12/8 2015/12/9 | 0.34 | 1 | 0.28 | |
| | | | | | | | 0.17 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| | | | | | | ② 破碎施設 敷地境界 | 0.34 | 1 | 0.37 | |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.45 | 1 | | |
| | | | | | | ③ 破碎施設 敷地境界 | 0.11 | 1 | 0.20 | |
| | | | | | | | 0.34 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.22 | 1 | | |
| | | | | | | ④ 破碎施設 敷地境界 | 0.17 | 1 | 0.36 | |
| | | | | | | | 0.28 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.96 | 1 | | |
| | | | | | | ⑤ 破碎施設 敷地境界 | 0.39 | 1 | 0.49 | |
| | | | | | | | 0.79 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.39 | 1 | | |
| 54 | 鹿児島県 | - | 破碎施設 | 破碎施設 | - | 2016/1/26 2016/1/27 2016/1/28 | 0.11 | 1 | 0.10 | |
| | | | | | | | 0.17 | 2 | | |
| | | | | | | | 0.056 | 2 | | |
| | | | | | | ② 破碎施設 敷地境界 | 0.17 | 1 | 0.081 | |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |
| | | | | | | ③ 破碎施設 敷地境界 | 0.056 | 1 | 0.10 | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | ④ 破碎施設 敷地境界 | 0.11 | 1 | 0.11 | |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.22 | 1 | | |
| | | | | | | ⑤ 破碎施設 敷地境界 | 0.056 | 1 | 0.070 | |
| | | | | | | | 0.11 | 1 | | |
| | | | | | | | 0.056 | 1 | | |

(注) (1) 地域分類 : 以下の14種類に分かれている。

1. 内陸山間地域
2. 離島地域
3. 【継続】旧石綿製品製造事業場等 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
4. 【継続】廃棄物処分場等 : 平成7年度、平成17～26と同一の調査地域
5. 【継続】蛇紋岩地域 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
6. 【継続】高速道路及び幹線道路沿線 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
7. 【継続】内陸山間地域 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
8. 【継続】離島地域 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
9. 【継続】住宅地域 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
10. 【継続】商工業地域 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
11. 【継続】農業地域 : 平成7年度、平成17～26年度と同一の調査地域
12. 廃棄物処分場等
13. 解体現場等（大防法届出対象） : 大気汚染防止法に規定する「特定粉じん排出等作業」の届出の対象となる作業現場
14. 破碎施設

(2) 地域名 : 事業場名称、所在地等を記載した。

(3) 測定箇所番号 : 各地域で複数の調査地点を設けている。例えば、調査地点が1地点に4箇所ある場合、①、②、③、④と測定箇所番号をつけている。

(4) 地点分類 : 解体現場等においては「建物周辺」、「セキュリティゾーン出入口」、「集じん機排気口」と表している。なお、「建物周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界、「セキュリティゾーン出入口」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の出入口、「集じん機排気口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。

(5) 繊維数濃度 : 各測定箇所の総繊維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で3日間（4時間×3回）測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を当該地点の総繊維数濃度としている。また、解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各測定箇所で1日間（No. 39～40 : 2時間×1回）測定し、その測定値を当該地点における総繊維数濃度としている。なお、NDは繊維未検出のことを示している。総繊維数濃度は、位相差顕微鏡によって繊維状に見える粒子の計数結果から算出したものである。

2. 総合的な検証・評価等

2. 1 風向・風速の影響について

大気環境中の総繊維数濃度に対する風の影響は、下記の2種類が想定される。

- ① 排出源の風上では排出源からの影響を適切に把握できない。
- ② その他の地域でも、強風時は弱風時に比べ総繊維が拡散して濃度が減少する可能性がある。

そこで、本調査のサンプリング時における風向・風速の状況について確認した。

発生源周辺地域（旧石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等、解体現場等、蛇紋岩地域、高速道路及び幹線道路沿線）における風向・風速の影響に関する解析結果を表II-2に、バックグラウンド地域（住宅地域、商工業地域、農業地域、内陸山間地域、離島地域）における風向・風速の影響に関する解析結果を表II-3に示す。

発生源周辺地域、バックグラウンド地域共に、サンプリング時における平均風速は5m/s以下であったため、全ての計数結果を採用することとした。

なお、発生源周辺地域における風向・風速の状況と調査地点の位置関係については、添付資料1「風の解析結果」に詳細に記載した。

表II-2 発生源周辺地域における風向・風速の影響に関する解析結果

| 地点No. | 地域名 | 風速データ数 | 平均風速(m/s) | 最大風速(m/s) | 5m以上の風速の有無 | 判定 | 採用とする理由 |
|-------|-----------------------------|--------|-----------|-----------|------------|------|----------------|
| 2 | (株)ノザワ フラノ工場 (旧北海道工場) | 54 | 1.8 | 5.8 | 有 | 全て採用 | 平均風速が5m/s未満のため |
| 4 | 国道4号線盛岡バイパス | 54 | 0.9 | 1.8 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 6 | 遠野市蛇紋岩採石場 | 54 | 1.0 | 1.8 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 9 | 国道13号線 | 54 | 1.3 | 2.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 12 | 中央防波堤埋立処分場 | 54 | 2.3 | 4.6 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 15 | 川崎市幹線道路 | 54 | 0.5 | 2.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 17 | 県道名古屋長久手線 | 54 | 0.6 | 1.8 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 18 | 堺第7-3区廃棄物処分場 (旧中間処理センター) | 54 | 1.4 | 2.5 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 25 | 山陽自動車道五日市インター | 54 | 1.2 | 2.3 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 29 | 国道3号線千鳥橋交差点 | 54 | 1.2 | 3.8 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 30 | 糟屋郡旧蛇紋岩採石場 | 54 | 0.9 | 2.1 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 34 | - | 27 | 1.4 | 3.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 35 | - | 27 | 2.4 | 4.3 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 36 | - | 27 | 1.4 | 2.7 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 37 | - | 27 | 1.0 | 2.4 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 38 | - | 27 | 1.4 | 2.3 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 39 | - | 5 | 0.8 | 1.3 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 40 | - | 5 | 0.6 | 0.9 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 51 | - | 27 | 2.3 | 4.0 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 52 | - | 27 | 0.4 | 1.1 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 53 | - | 27 | 1.2 | 2.0 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 54 | - | 27 | 0.6 | 1.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |

表II-3 バックグラウンド地域における風向・風速

| 地点 No. | 地域名 | 風速データ 数 | 平均風速 (m/s) | 最大風速 (m/s) | 5m以上 の風速の 有無 | 判定 | 採用とする理由 |
|-----------|-------------------------------|------------|---------------|---------------|--------------------|------|----------------|
| 1 | 富良野市住宅地域 | 54 | 1.7 | 6.9 | 有 | 全て採用 | 平均風速が5m/s未満のため |
| 3 | 盛岡市住宅地域 | 54 | 1.1 | 2.8 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 5 | 釜石市住宅地域 | 54 | 1.1 | 2.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 7 | 国設箇岳局 | 54 | 1.0 | 2.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 8 | 山形県立米沢女子短期大学 | 54 | 1.2 | 3.3 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 13 | 東京都環境科学研究所 | 54 | 0.8 | 3.4 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 14 | 大師中央地域包括支援センター 及び川崎区役所大師支所 | 54 | 0.4 | 1.2 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 16 | 名古屋市住宅地域 | 54 | 0.6 | 3.0 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 19 | 堺港湾合同庁舎 | 54 | 1.1 | 3.1 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 20 | 国設一般大気環境測定局前及び兵 庫県尼崎総合庁舎 | 54 | 1.8 | 4.0 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 21 | 双子川浄苑 | 54 | 1.4 | 3.1 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 22 | 奈良県農協会館 | 54 | 0.9 | 2.0 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 23 | 国設隱岐局 | 54 | 4.4 | 8.2 | 有 | 全て採用 | 平均風速が5m/s未満のため |
| 24 | 南原峡県立自然公園 | 54 | 1.2 | 7.0 | 有 | 全て採用 | 平均風速が5m/s未満のため |
| 26 | 国設筑後小郡環境大気測定所 | 54 | 2.1 | 4.8 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 27 | 千石の郷 | 54 | 0.7 | 1.5 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 28 | 福岡市住宅地域 | 54 | 1.3 | 2.7 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 31 | 小川島 | 54 | 1.8 | 3.4 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |
| 32 | 国設対馬酸性雨測定所 | 54 | 3.2 | 5.8 | 有 | 全て採用 | 平均風速が5m/s未満のため |
| 33 | 国設辺戸岬酸性雨測定所 | 54 | 3.1 | 4.6 | 無 | 全て採用 | 全体的に風が弱い |

2. 2 地域分類別の測定結果

地域分類別に大気環境中の総纖維数濃度を最小値、最大値、幾何平均値別に集約した。なお、集計に当たっては、ND値を「計数視野全体で1本の纖維が計数された」と想定して幾何平均値を算出した。光学顕微鏡法による地域分類別の計数結果の集約表を表II-4及び図II-1に示す。なお、集じん機排気口等における調査結果については参考として示した。

光学顕微鏡法による計数結果を集約したところ、総纖維数濃度は総合計172データのうち、155データが1.0本/L以下であった。

表II-4 光学顕微鏡法による地域分類別の計数結果集約表

| 地域分類 | 地点数 | 測定箇所数 | 測定データ数 | NDの数 | 総纖維数濃度 | | |
|------------|--------------|-------|--------|------|----------|----------|------------|
| | | | | | 最小値(本/L) | 最大値(本/L) | 幾何平均値(本/L) |
| 発生源周辺地域 | 旧石綿製品製造事業場等 | 1 | 6 | 12 | 2 | 0.056 | 5.5 |
| | 廃棄物処分場等 | 7 | 14 | 18 | 1 | 0.070 | 0.68 |
| | 解体現場(建物周辺) | 2 | 8 | 8 | 0 | 0.056 | 1.5 |
| | 蛇紋岩地域 | 2 | 4 | 8 | 0 | 0.088 | 0.30 |
| | 高速道路及び幹線道路沿線 | 6 | 12 | 24 | 1 | 0.056 | 0.37 |
| バックグラウンド地域 | 住宅地域 | 7 | 13 | 26 | 3 | 0.056 | 0.37 |
| | 商工業地域 | 5 | 10 | 20 | 3 | 0.056 | 0.38 |
| | 農業地域 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0.10 | 0.23 |
| | 内陸山間地域 | 3 | 6 | 12 | 1 | 0.081 | 0.36 |
| | 離島地域 | 4 | 8 | 16 | 1 | 0.056 | 0.28 |
| その他の地域 | 破碎施設 | 4 | 20 | 20 | 4 | 0.056 | 2.1 |
| 合計 | | 42 | 103 | 168 | 16 | - | - |

| (参考)集じん機排気口等における調査結果 | 地点数 | 測定箇所数 | 測定データ数 | NDの数 | 総纖維数濃度 | | |
|----------------------|-----|-------|--------|------|----------|----------|------------|
| | | | | | 最小値(本/L) | 最大値(本/L) | 幾何平均値(本/L) |
| 解体現場(セキュリティーゾーン出入口) | (2) | 2 | 2 | 0 | 0.45 | 18 | 2.8 |
| 解体現場(集じん機排気口) | (2) | 2 | 2 | 0 | 0.17 | 0.79 | 0.37 |
| 合計 | (2) | 4 | 4 | 0 | - | - | - |

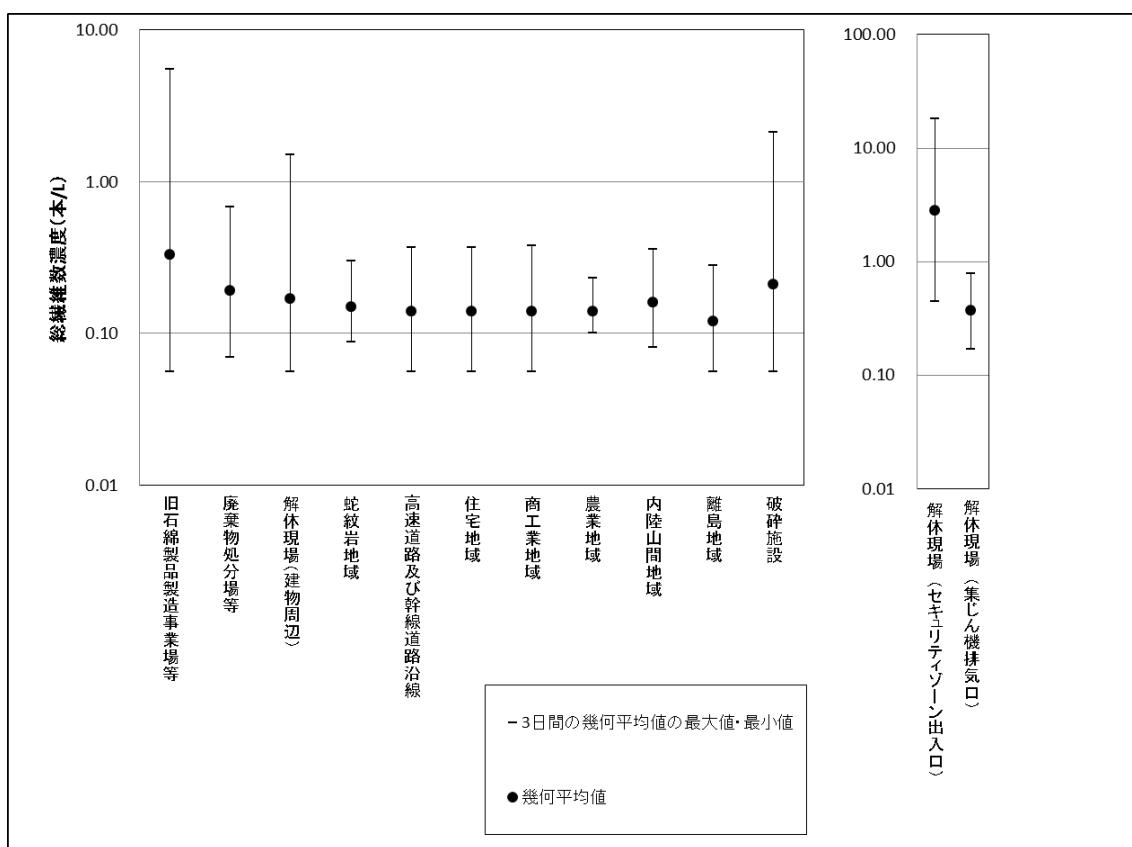
注1) 「解体現場」とは、建築物等の解体、改造または補修作業現場を意味している。また、「建物周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界。「セキュリティーゾーン出入口」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の出入口、「集じん機排気口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。

注2) 各測定箇所の石綿濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、注3)の場合を除き、各地点で3日間(4時間×3回)測定して得られた個々の測定値を地点ごとに幾何平均し、その値を当該地点の総纖維数濃度としている。

注3) 解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各地点で1日間(2時間×1回)測定し、その測定値を当該地点における総纖維数濃度としている。

注4) 表中の()内の数値は解体現場における内数である。

注5) 平成21年度アスベスト大気濃度調査に関する検討結果に基づき、これまで地域としていたものを「地点」とし、地点としていたものを「箇所」とした。



図II-1 光学顕微鏡法による地域分類別の計数結果
(参考までにセキュリティゾーン出入口等での計数結果も記載)

2. 3 総繊維数濃度が高かった地点に関する電子顕微鏡法による分析結果

光学顕微鏡法による測定の結果、総繊維数濃度が1.0本/Lを超えた地点(4地点、10箇所、17試料)についてはアスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に従って、分析走査電子顕微鏡法による測定を行った。計数結果を表II-5に示す。

- No. 2北海道内の旧石綿製品製造事業場等(1期調査)の定点①(1日目)と定点③(1日目)及び(2日目)において、光学顕微鏡法による総繊維数濃度が1本/Lを超過した。分析走査電子顕微鏡法による分析結果は、定点①(1日目)と定点③(1日目)及び(2日目)でそれぞれクリソタイルが97.7%、99.0%、91.9%の割合で検出された。
- No. 2北海道内の旧石綿製品製造事業場等(2期調査)の定点①(1日目)及び(3日目)、定点②(1日目)及び(3日目)、定点③(1日目)、(2日目)及び(3日目)において、光学顕微鏡法による総繊維数濃度が1本/Lを超過した。分析走査電子顕微鏡法による分析結果は、定点①(1日目)及び(3日目)において、クリソタイルが、それぞれ100%、93.3%の割合で検出された。定点②(1日目)及び(3日目)においては、クリソタイルが両日とも100%の割合で検出された。定点③(1日目)、(2日目)及び(3日目)においては、クリソタイルがそれぞれ86.7%、99.0%、94.3%の割合で検出された。また追加で「定点③(2日目)」のろ紙について、TEM分析を行ったところ、20繊維中18本は非結晶性であった為、石綿繊維ではないと判定された。残り2本は形態及びEDSの結果からクリソタイルの様相を呈しているが結晶性が低く、回析パターンが確認でき

なかつた為、石綿が疑われる纖維と判定された。

- No. 37 広島県内の廃棄物処分場の①風下側において、光学顕微鏡法による総纖維数濃度が 5.6 本/L であった。分析走査電子顕微鏡法による分析結果は、クリソタイル 10.6%、アモサイト 75.8% の割合であった。
- No. 40 東京都内の解体現場の①セキュリティゾーン出入口内側及び敷地境界①において、光学顕微鏡法による総纖維数濃度がそれぞれ 18 本/L と 1.5 本/L であった。分析走査電子顕微鏡法による分析結果は、①セキュリティゾーン出入口内側においてクリソタイルが 0.7%、クロシドライトが 81.8%、アモサイトが 4.4% の割合で検出された。敷地境界①については、石綿纖維は検出されなかった。
- No. 51 東京都内の破碎施設の①敷地境界及び、⑤破碎機付近(1日目)、(2日目)、(3日目)において、光学顕微鏡法による総纖維数濃度が 1 本/L を超過した。但し、分析走査電子顕微鏡法による分析の結果、石綿纖維は検出されなかった。

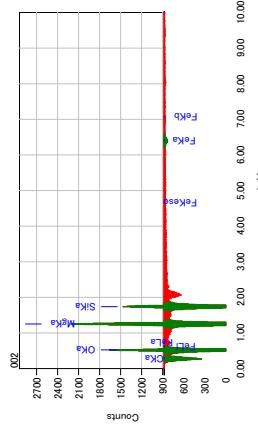
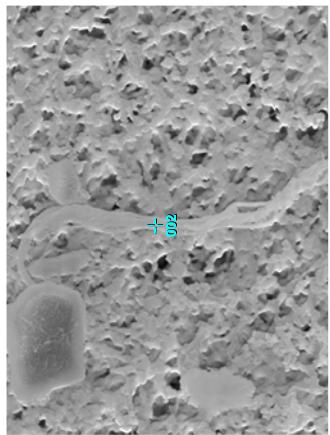
表 II-5 総纖維数濃度の高かった地点における追加調査結果

| 地点 No. | 都道府県名 | 測定箇所 | 箇所番号 | フィルター 番号 | 光学顕微鏡法 | | 分析走査電子顕微鏡法(長さ5 μm以上、幅0.2 μm以上) 纖維数割合(%) | | | | | | |
|-----------|-------|-----------------|-------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|--|---------|-------|-------|----------|---------|--------|
| | | | | | 総纖維数濃度 (本/L) | | クリソタイル | クロシドライト | アモサイト | トルマイト | アンソフィライト | アクチノライト | その他の纖維 |
| | | | | | ① 定点 | 前期-地域02 -①-1 | 2.9 | 97.7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2.3 |
| 2 | 北海道 | 旧石綿製品 製造事業場等 | ③ 定点 (1日目) | 前期-地域02 -③-1 | 1.5 | 99.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.0 |
| | | | ③ 定点 (2日目) | 前期-地域02 -③-2 | 1.5 | 91.9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8.1 |
| | | | ① 定点 (1日目) | 後期-地域02 -①-1 | 2.3 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 北海道 | 旧石綿製品 製造事業場等 | ① 定点 (3日目) | 後期-地域02 -①-3 | 1.5 | 93.3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6.7 |
| | | | ② 定点 (1日目) | 後期-地域02 -②-1 | 1.1 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | ② 定点 (3日目) | 後期-地域02 -②-3 | 2.3 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | ③ 定点 (1日目) | 後期-地域02 -③-1 | 1.5 | 86.7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13.3 |
| | | | ③ 定点 (2日目) | 後期-地域02 -③-2 | 25 | 99.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.0 |
| | | | ③ 定点 (3日目) | 後期-地域02 -③-3 | 4.5 | 94.3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5.7 |
| | | | ① 風下 | 廃棄物 処分場等 | 5.6 | 10.6 | 0 | 75.8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13.6 |
| 40 | 東京都 | 解体現場 | ① セキュリティゾーン 出入口内側 | 東京都- Sゾーン入口 | 18 | 0.7 | 81.8 | 4.4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13.1 |
| | | | ③ 敷地境界 | 東京都-敷地 境界③(東側) | 1.5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 51 | 東京都 | 破碎施設 | ① 破碎施設 敷地境界 | 破碎現場01- ①-3 | 1.3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| | | | ⑤ 破碎機付近 (1日目) | 破碎現場01- ⑤-1-1~8 | 1.8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| | | | ⑤ 破碎機付近 (2日目) | 破碎現場01- ⑤-2-1~8 | 1.9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| | | | ⑤ 破碎機付近 (3日目) | 破碎現場01- ⑤-3-1~8 | 2.9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |

各視野番号における繊維の組成

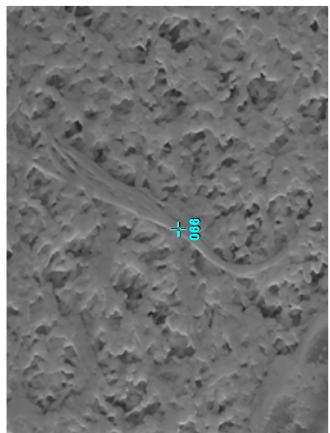
フィルターNo. 前期-地域02-地点①-1

No.013

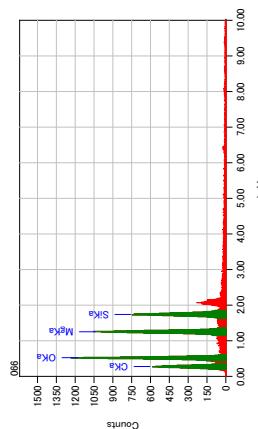


O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)
(クリソタイル)

No.125

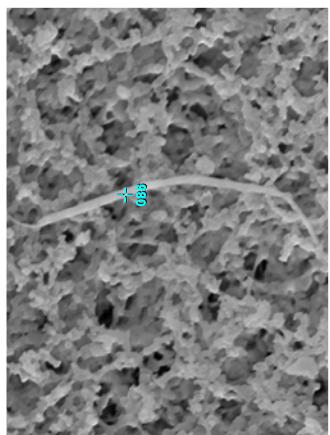


(×300)



O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)
(クリソタイル)

No.164



(×3300)



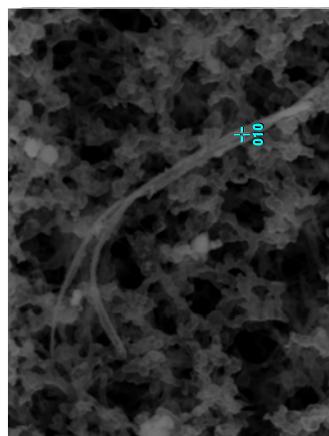
O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)
(クリソタイル)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

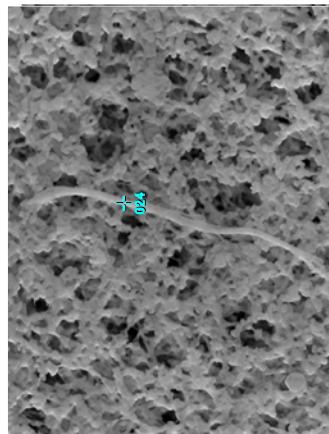
各視野番号における纖維の組成

フィルターNo. 前期-地域02-地点③-1

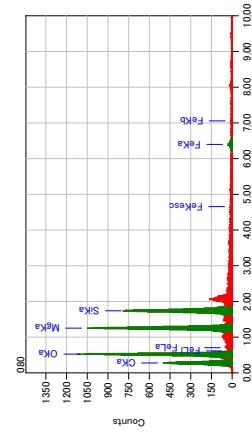
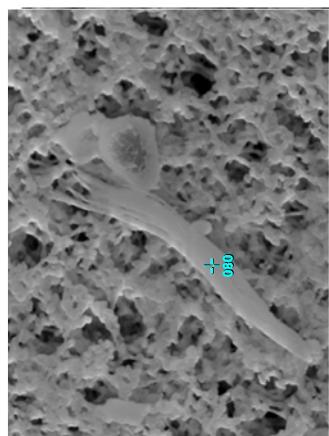
No.020



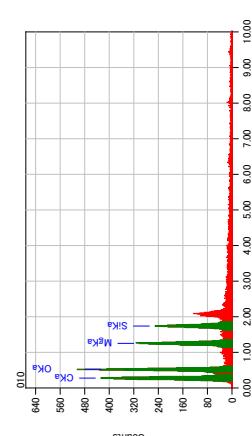
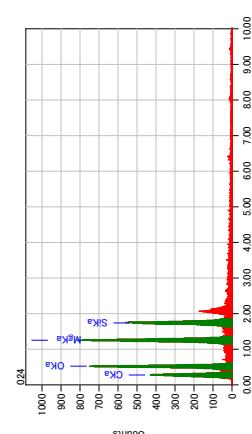
No.040



No.136



O,Mg,Siが検出
(クリソチル)
O,Mg,Siが検出
(クリソチル)

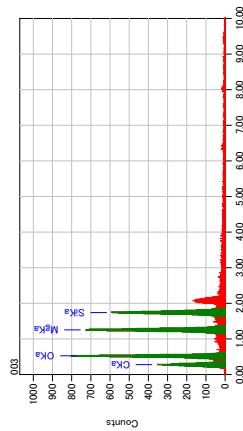
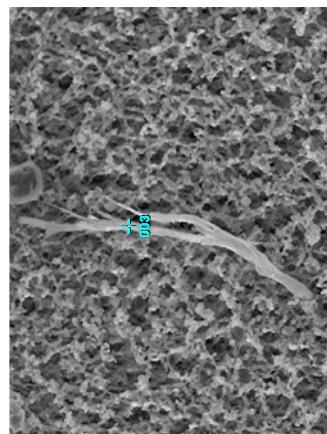


O,Mg,Si,Feが検出
(クリソチル)

計数した代表的な纖維は上図の組成である。

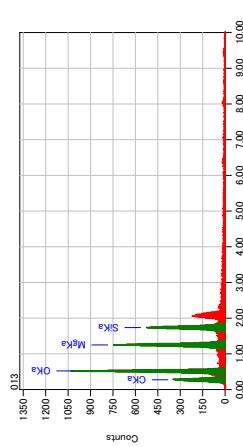
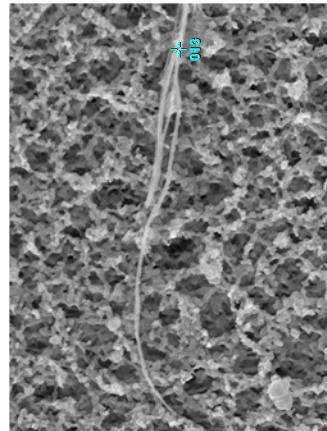
各視野番号における纖維の組成 フィルターNo. 前期-地域02-地点③-2

No.011



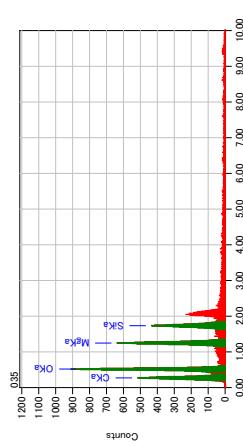
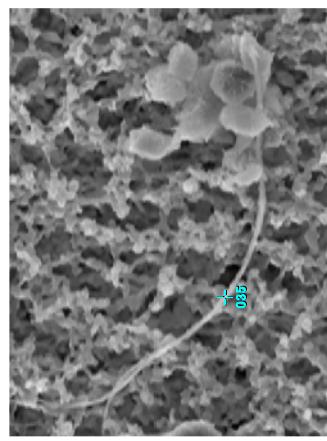
O,Mg, Siが検出
(クリソチル)

No.066



O,Mg, Siが検出
(クリソチル)

No.159



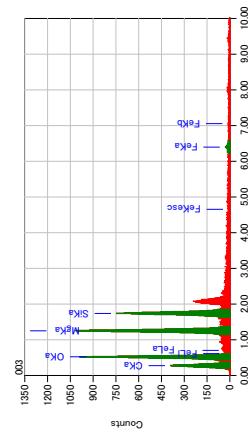
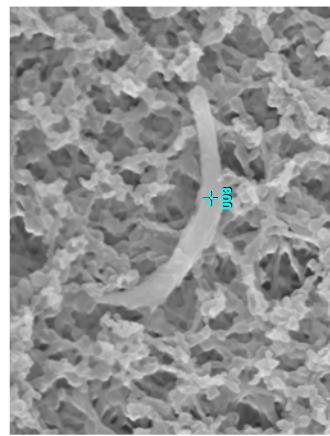
O,Mg, Siが検出
(クリソチル)

計数した代表的な纖維は上図の組成である。

各視野番号における纖維の組成

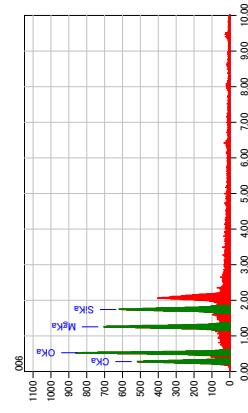
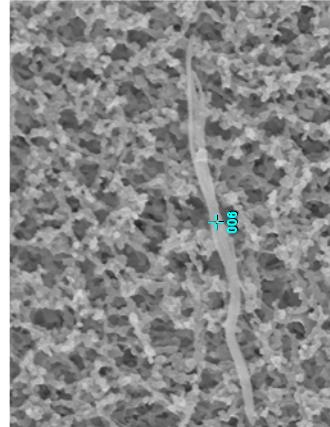
フィルターNo. 後期-地域02-地点①-1

No.037



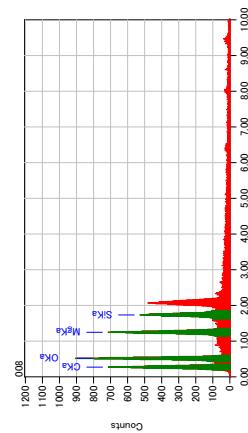
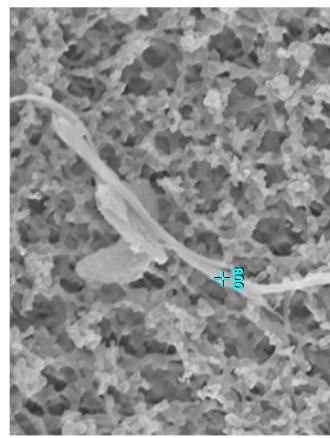
O,Mg,Si,Fが検出
(クリソタイル)

No.081



O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

No.098



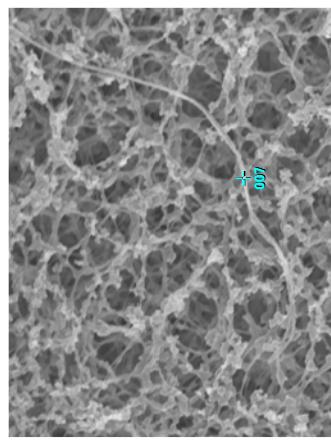
O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

計数した代表的な纖維は上図の組成である。

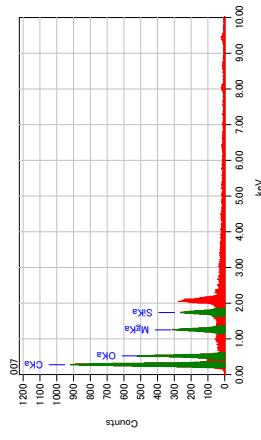
各視野番号における繊維の組成

フィルター-No. 後期-地域02-地点①-3

No.104

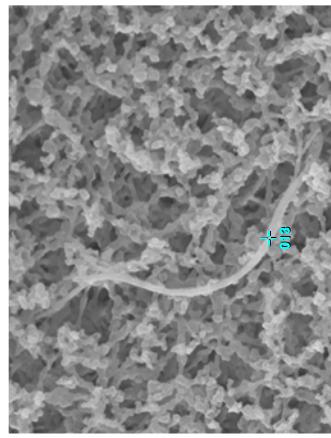


($\times 3000$)

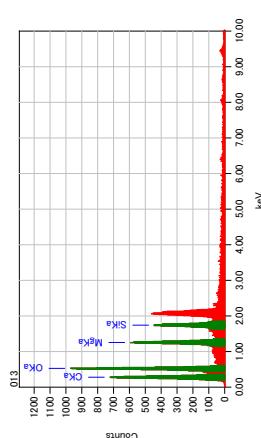


O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

No.132

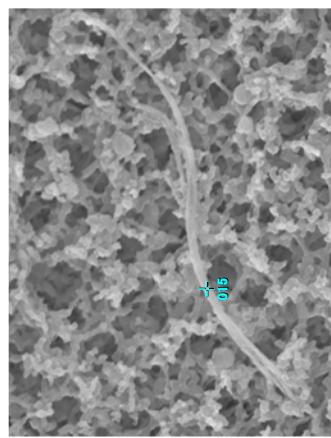


($\times 3500$)

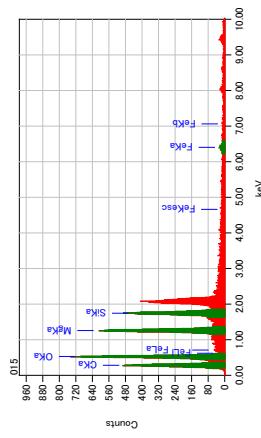


O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

No.158



($\times 3300$)



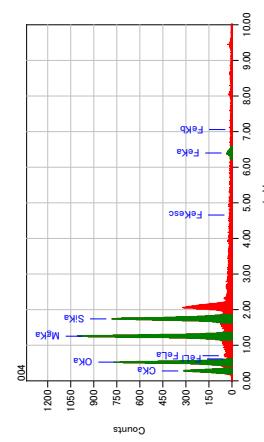
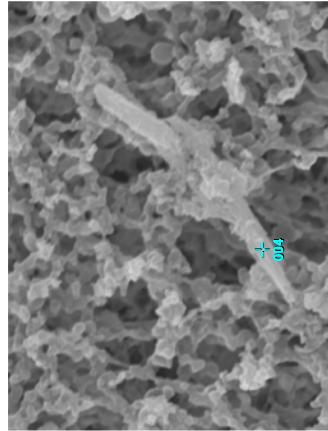
O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

各視野番号における繊維の組成

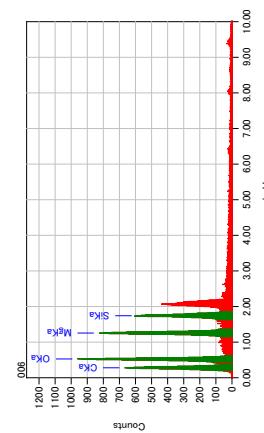
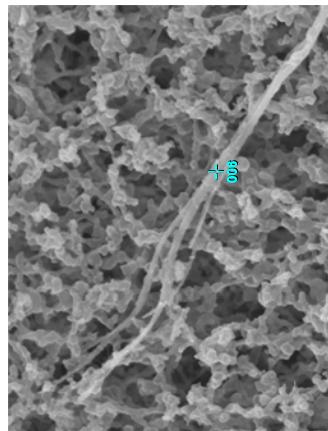
フィルターNo. 後期-地域02-地点②-1

No.069



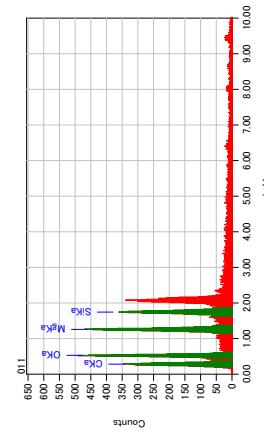
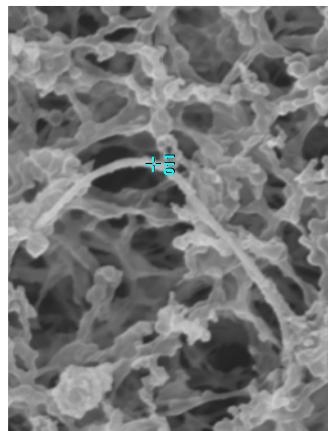
O,Mg,Feが検出
(クリソタイル)

No.074



O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

No.146

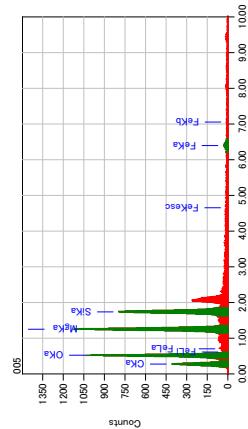
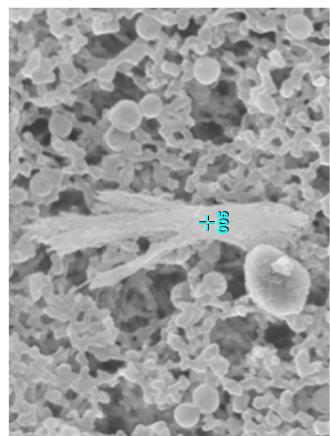


O,Mg,Siが検出
(クリソタイル)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

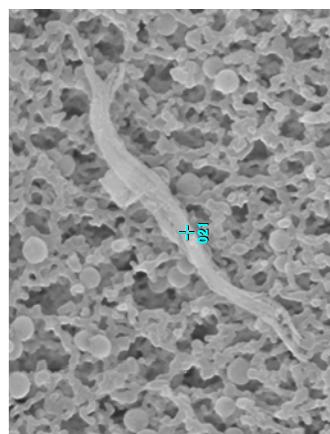
各視野番号における繊維の組成 フィルターNo. 後期-地域02-地点②-3

No.050



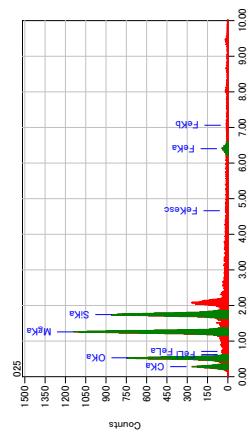
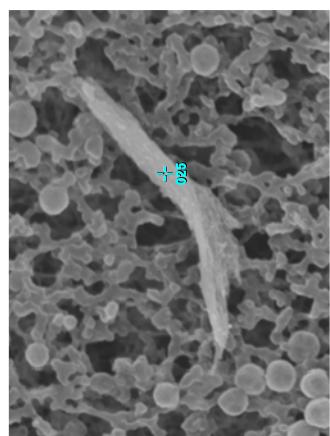
O, Mg, Si, Feが検出
(クリンスタイル)

No.107



O, Mg, Si, Feが検出
(クリンスタイル)

No.133



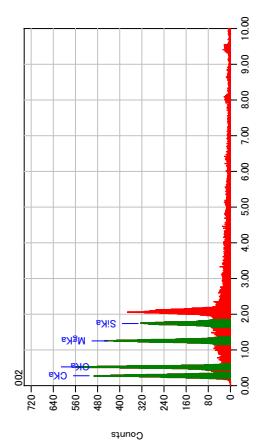
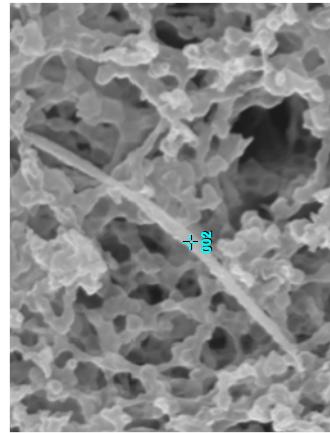
O, Mg, Si, Feが検出
(クリンスタイル)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

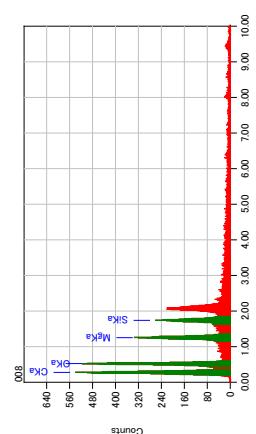
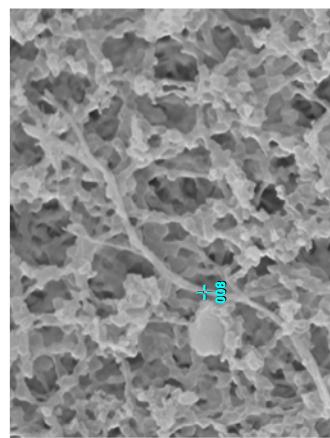
各視野番号における繊維の組成

フィルターNo. 後期-地域02-地点③-1

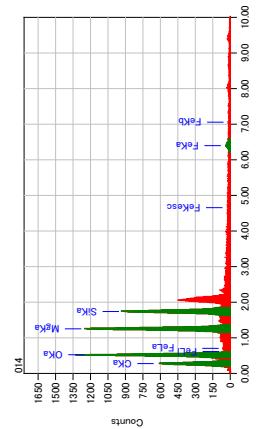
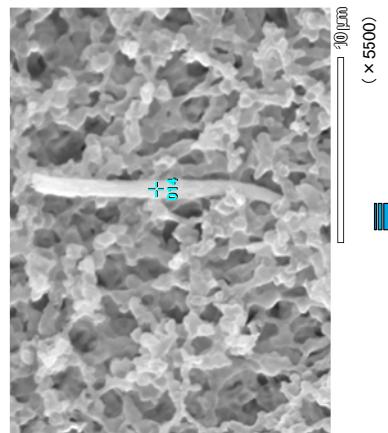
No.021



No.077



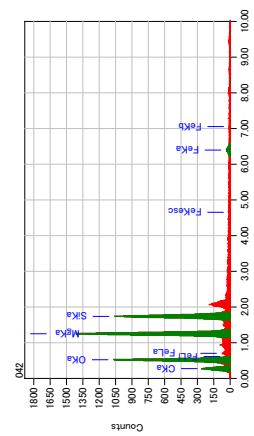
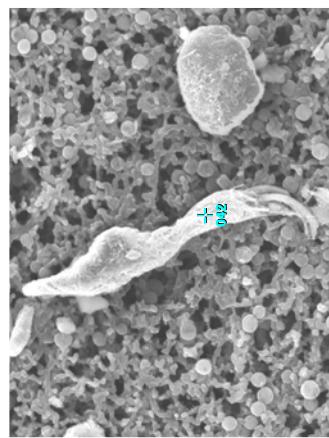
No.158



計数した代表的な繊維は上図の組成である。

各視野番号における繊維の組成 フィルターNo. 後期-地域02-地点③-2 1/2

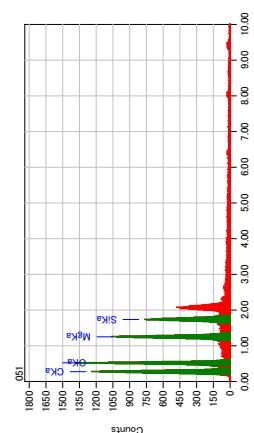
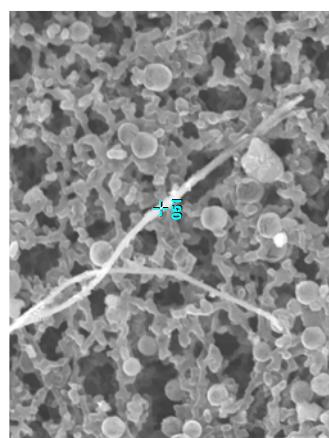
No.012



O,Mg,Si,Feが検出
(クリンスタイル)

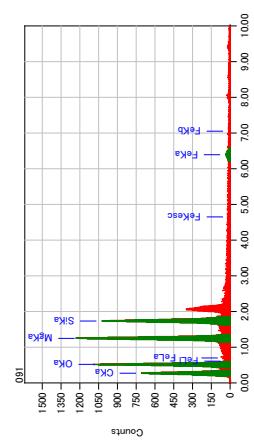
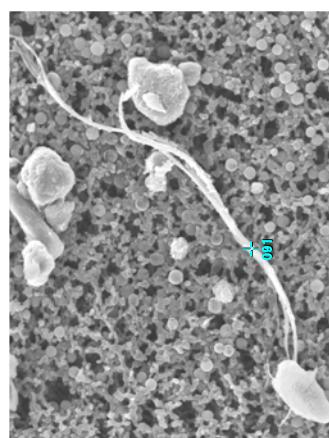
計数した代表的な繊維は上図の組成である。

No.015



O,Mg,Siが検出
(クリンスタイル)

No.038

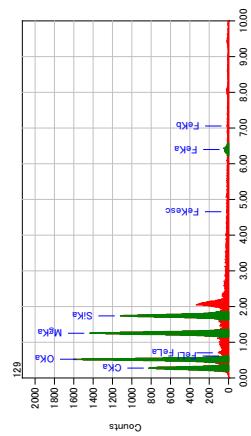
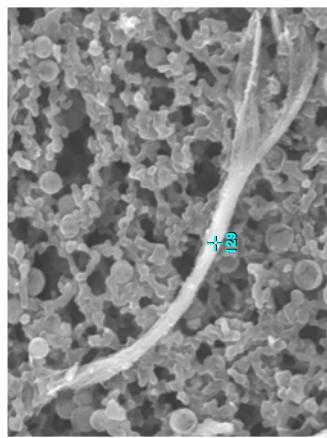


O,Mg,Si,Feが検出
(クリンスタイル)

各視野番号における纖維の組成

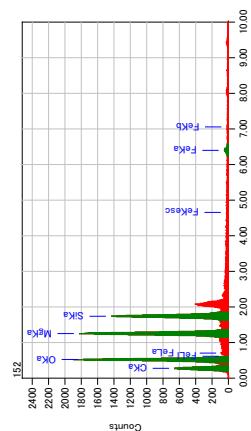
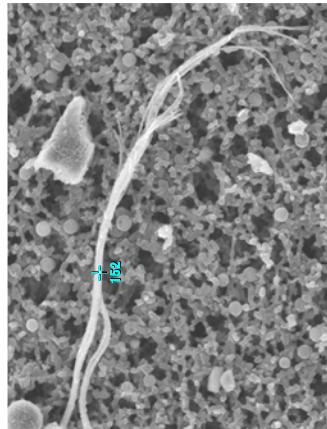
フィルター-No. 後期-地域02-地点③-2 2/2

No.050



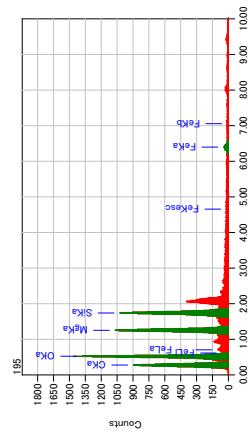
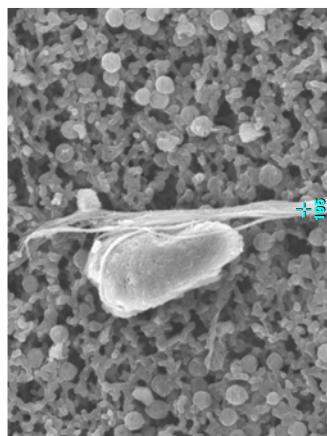
O,Mg, Si, Feが検出
(クリンタイル)

No.059



O,Mg, Si, Feが検出
(クリンタイル)

No.073

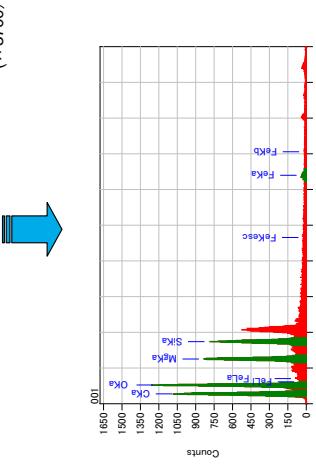
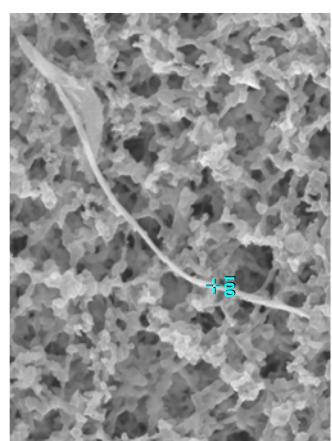


O,Mg, Si, Feが検出
(クリンタイル)

計数した代表的な纖維は上図の組成である。

各視野番号における繊維の組成 フィルターNo. 後期-地域02-地点③-3

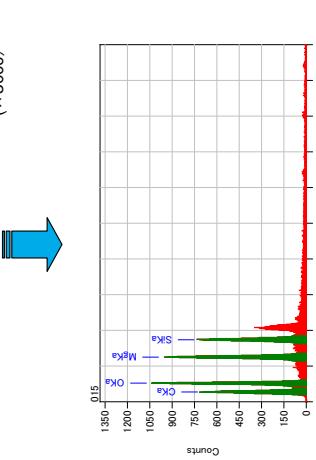
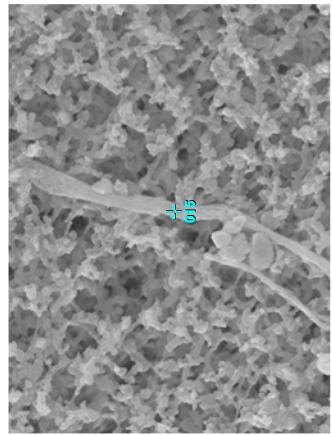
No.008



O,Mg,Feが検出
(クリンスタイル)

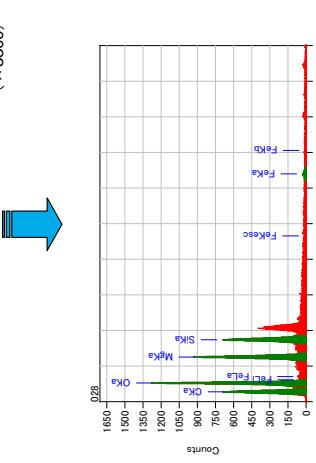
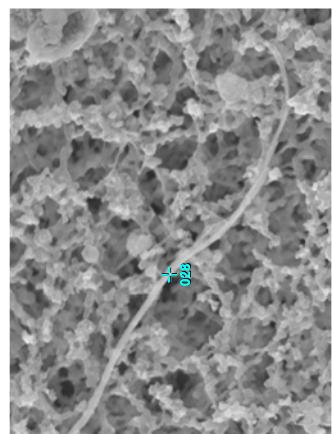
計数した代表的な繊維は上図の組成である。

No.071



O,Mg,Siが検出
(クリンスタイル)

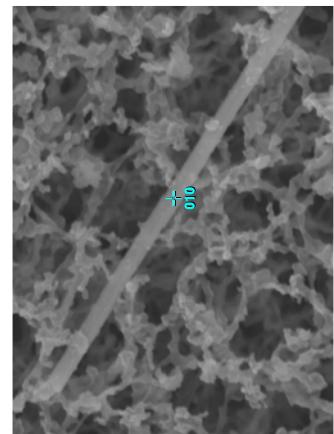
No.139



O,Mg,Feが検出
(クリンスタイル)

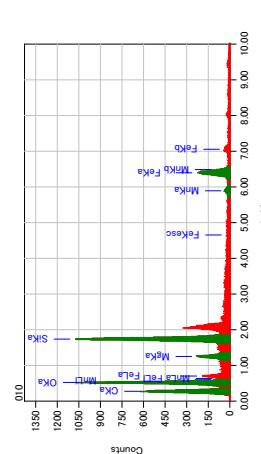
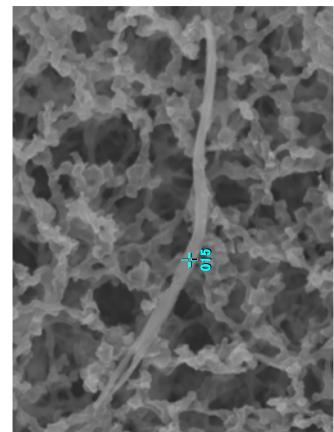
各視野番号における繊維の組成 フィルターNo. 廃棄物処分場04-地点①-1 1/2

No.027



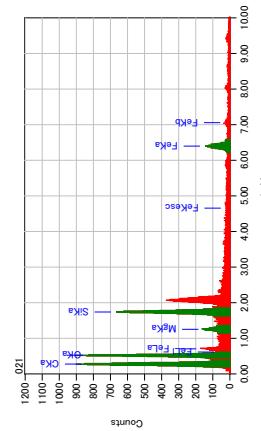
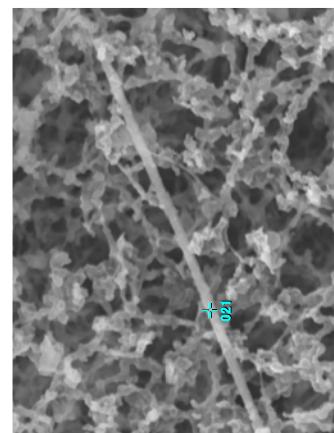
O,Mg, Si,Mn,Feが検出
(アモサイト)

No.036



O,Mg, Siが検出
(クリソタイル)

No.060

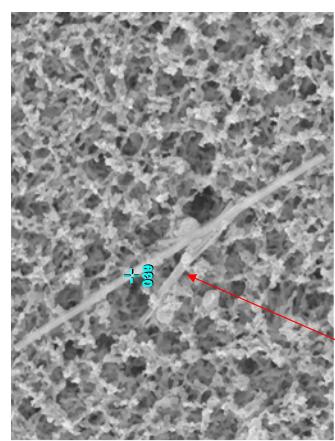


O,Mg, Si,Feが検出
(アモサイト)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

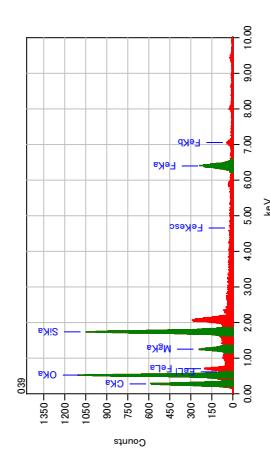
各視野番号における繊維の組成 フィルター-No. 廃棄物処分場04-地点①-1 2/2

No.110



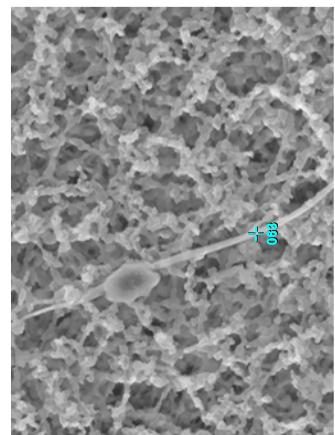
この繊維はプリントайл

20 μm
($\times 2500$)

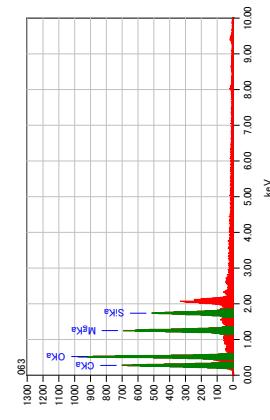


O,Mg, Si,Feが検出
(アモサイト)

No.158

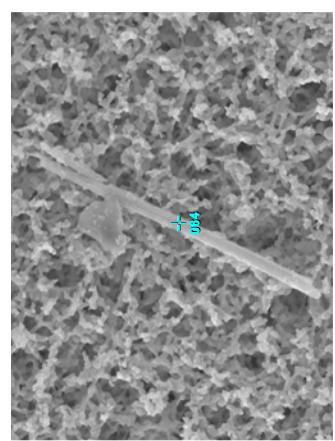


10 μm
($\times 3000$)

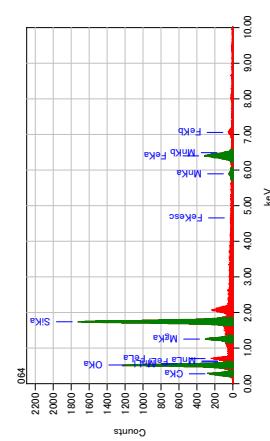


O,Mg, Siが検出
(クリンタイル)

No.060



20 μm
($\times 2500$)



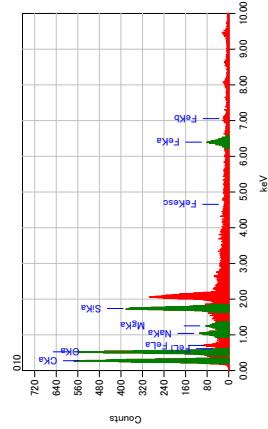
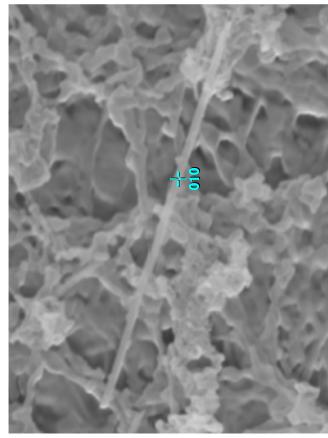
O,Mg, Si,Mn,Feが検出
(アモサイト)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

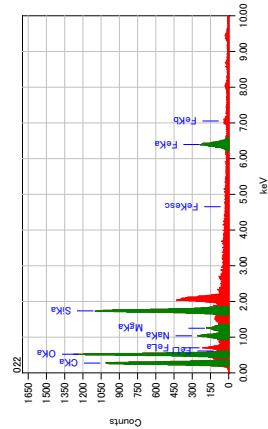
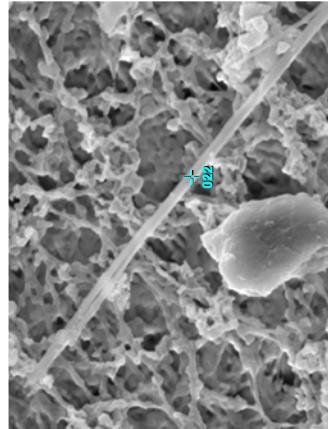
各視野番号における繊維の組成
フィルターNo. 東京都渋谷区-Sゾーン入口
(1/3)

No.009



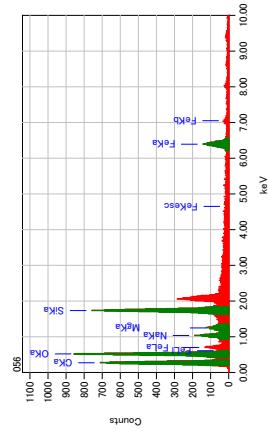
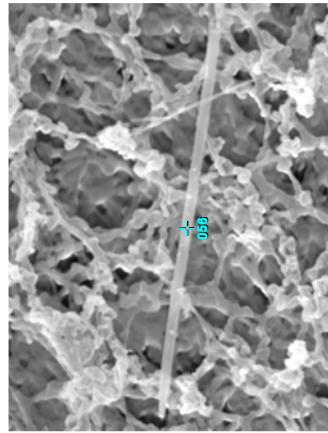
O,Na,Mg,Si,Feが検出
(クロンドライト)

No.034



O,Na,Mg,Si,Feが検出
(クロシドライト)

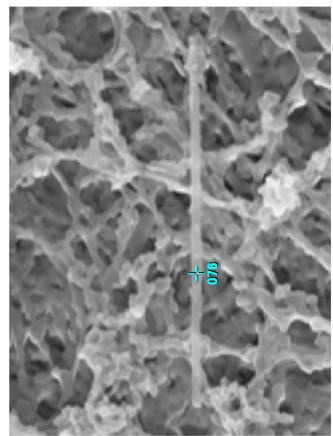
No.121



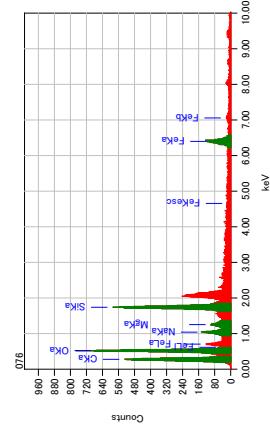
O,Na,Mg,Si,Feが検出
(クロシドライト)

各視野番号における繊維の組成
フィルターNo. 東京都渋谷区-Sゾーン入口
(2/3)

No.185

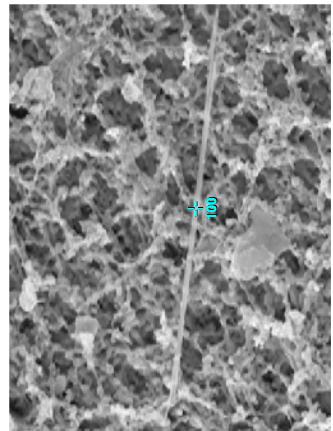


(×7000)

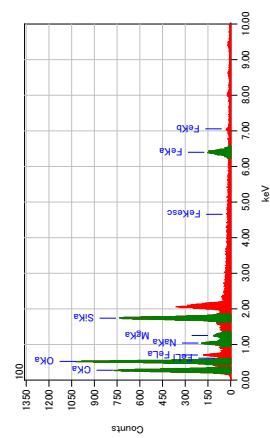


O,Na,Mg,Al,Feが検出
(クロシドライト)

No.246

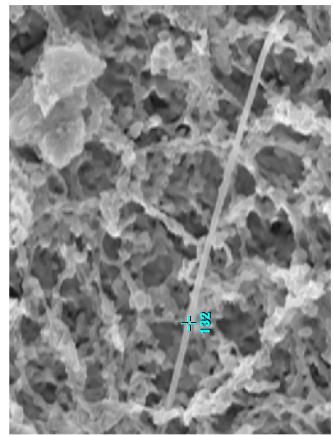


(×2700)

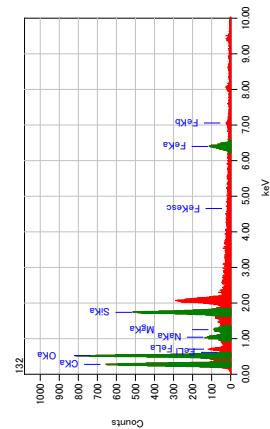


O,Na,Mg,Al,Feが検出
(クロシドライト)

No.321



(×4300)



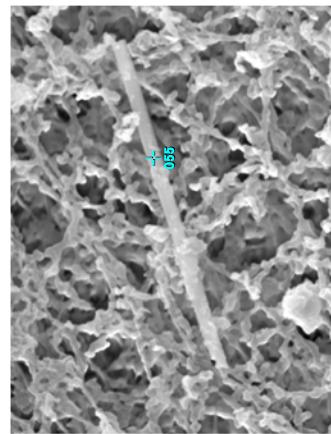
O,Na,Mg,Al,Feが検出
(クロシドライト)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。

各視野番号における繊維の組成

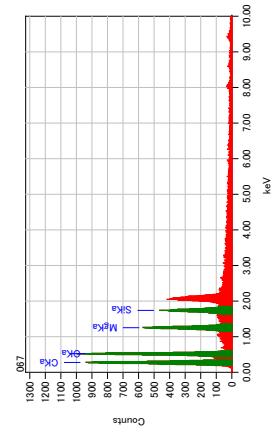
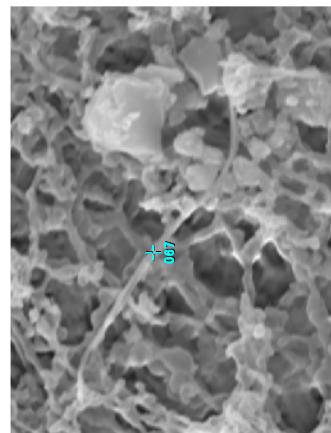
フィルターNo. 東京都渋谷区-Sゾーン入口
(3/3)

No.114



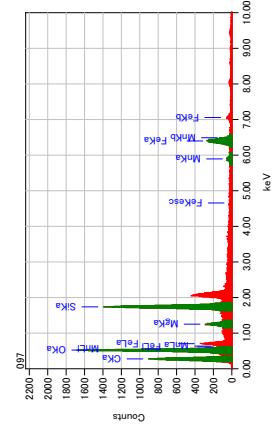
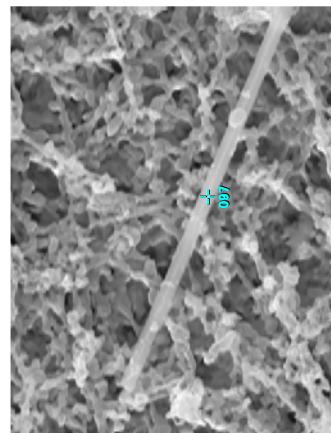
O,Mg, Si,Mn,Feが検出
(アモサイト)

No.153



O,Mg, Siが検出
(クリソタイル)

No.242



O,Mg, Si,Mn,Feが検出
(アモサイト)

計数した代表的な繊維は上図の組成である。